_	t第3号 					業評価表(平 _月									
	事業コード	520		課コード	0508	会計科	別 一般会計			予算の	種類 □ⅰ	政策 ■経常	□なし		
1.	事業の概要(PLAN)														
		①事業名		ケア体制の推進			実施計画へ	מ	●有 ○無	(2	部課名	健康福祉部・高齢者支援課			
		③事業主体		福祉施設の整備 			位置づけ) ④対象地区	□我孫子	口天王台	□湖北	□新木	□布佐 ■全市			
(4)		⑤事業期間	U1,12	COME	~		⑥担当職員数			4 人	(換算人数	0.3 人)			
(1)	事業概要	⑦事業費	総事業費		0 千円		当該(開始)年	(当初)	3,	081 千円	(うち人件費	2,640 千円)			
		(人件費含む)						(変更後)		千円	(うち人件費	千円)			
		⑧施策の位置づけ	施策 コード	33201	重点プロジェクト への位置づけ	重点 5	基本計画地区 計画への位置		○有 ●無	i	部門別計画への 位置づけ	(計画名) 第7期介護保険	画信業事		
(2)	目的	施策目的·			らし続けることができるよう、身 の介護や生活を地域で支えられる。							せ給体制を整備する。(地域 5介護・社会福祉法人への償			
(2)	H.,	展開方向	ワークや新聞、	郵便、宅配等の民間事業	業所との連携による見守り体制 (± 忍知症高齢者グループホームなどの	也域高齢者安心ネットワーク)	の構)	よ人への償還利子の一				@111 HP1004		
			のサービス拠点	(の施設整備を行う。	して、入浴、排せつ、食事等の日常							情に向けて、認可者である千	葉県と事前協詞		
(3)	事業内容	内 容	理等支援する特	別養護老人ホームを整備		執行計画									
(0)	# X P 1 T	1 11 12			回復訓練や必要な医療、日常生活」	呆健施	/ 信用利之の対	前助を行なった施設の	类						
			· 社会福祉施設		人で、千葉県民間社会福祉施設整備			切で打なりた 地収の	· 3 X		単位 箇所 実績値				
(4)	達成目標(期待する成果)		19 安納に基フさ		<u>こ対し、独立行政法人福祉医療機構</u> 票(期待する成果)	専からの信人に除る 慎退利士(指標種類		指	標		単位 (5)現況値	(6)目標値		
	当該年度			『について補助を行う。 『き、介護老人保健施設の	の整備に向けて、認可者である千季	薬県と事前協議を進める。	直接	償還利子のネ	i助を行なった施設の	数		箇所 2	2		
	令和 2年度			『について補助を行う。 『き、介護老人保健施設の	の整備する。		直接	償還利子のネ	制を行なった施設の	数		箇所	1		
	令和 3年度			『について補助を行う。			直接	償還利子のネ	削を行なった施設の	数		箇所	1		
(7)	事業実施上の課題と対応						代替案検討	+	○有 ●無						
(,,			平成30年度		<u> </u>	平成31年度	1417/1		○			令和 3年度			
		政	内容		政 内 容		快算額(千円) 政	内		金額(千円)	政策		金額(千円)		
		束	の利子補給金交付		策: 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		策: 社	会福祉法人への利力	 - - - - - - - - - - - - - - - - - -	307	社会福祉法	への利子補給金交付	230		
					アコモード 382,550円 栄興会 57,700円		ア	コモード 306,040	P		アコモード	229, 530円			
	実施内容														
(8)	施行事項 費 用														
	7														
	予算(決算)額	4	計	575	合 計	441		合 į	+	307		合 計	230		
	国庫支出金県支出金	補助率	0 0	% 0	補助率	0 % 0 0 % 0	補助]率	0 %	0	補助率	0 %	0		
(9)	起債	充当率	0	% 0	充当率	0 % 0	充当		0 %	0	充当率	0 %	0		
	その他の財源	□特会 □受	益 □基金 □その				1	□特会 □受益 □基	金□その他	307 0	□特会 □	受益 口基金 口その他	230 0		
(10	換算人数(人) 正職員人件費			0. 3 2, 640		0. 3 2, 640				0. 3 2, 640			0. 3 2, 640		
	鳴: 1 職員報酬額 臨時職員賃金額			0		0				0			0		
	費(予算(決算)額+正職員人件費) 単位費用		3.215千円/筒	3, 215	1,540.5千円	3,081				2, 947			2, 870		
_	(事業費/活動結果指標) 事業の部(年 (DO , OUEOV	<u> </u>	3, 215十円/固	нт	1, 540. 5干円	/ 固州									
2.	事業の評価(D0+CHECK) 						-					_, _, _,		
	評価項目 	小雑丸心亜レオス	京齢者が揃う てい		〕 評 価 スを希望しても利用できない現状が	ぶちろため 塩乳救備の必要	〇①事前確認での		平 価(評価結果に応	じ、改善案権	検討(拡充も含む))	改善検討		
	(1) 事業が今必要である理由・	性があります。		・、なが、こ、地域ケーニを	へを加重しても行所できない。現代が	1.60~1.60、他放走網の必要	○②事前確認での想定どおりでなかった ○②事前確認での想定どおりでなかった								
	背景は?(事業の必要性)						<想定どおりとした	<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>							
		• O D BB A alle					□①早間企業 NDO 主足屋仕等では実施できたかった マ主実施の具体がた内容 心悪性の頂巾へ								
必		(理由) □法令等	で市が実施するこ	等では実施できない ことが定められている	<その他の内容>		□②市が主導で進	□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった			と <市実施の具体的な内容・必要性の理由>				
要		■提供主 □その他	体が市しかない				□③市が先導役と 促進された								
性	(2) 市が実施する必要性は あるか?	O②自治体である	市が推進すべき	である	<その他の内容>		□ □④市の支援が政 □⑤サービス水準		ミ現に貢献した				〇要		
	(市実施の必要性)			:より実効性が得られる :により、良質で安定しが	te		□⑥サービスの安 □⑦その他	定供給基盤が確保る	きれた				〇不要		
			スが保証される 援することにより	政策・施策の目標の			<その他の内容>								
			図られる												
			参加・協働の内	内容	工夫の具体	的な内容		・協働の具体的な内 が考えられる場合に			参加・協働	かれ おりゅう かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅう			
参		〇①事業計画時に 〇②事業実施時に					シル・1加1割7	・ラルシルの場合は	ふしひげ合/		期待した以上				
加:	市民の参加や市民との協働を	○③管理・運営に	市民の参画有り	T1) Z							②当初期待したとおり ③当初の期待以下				
協働の	工夫しているか? (体制づくり)	〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で		しいる						<u><期待し</u>	た以上となった理師	由/期待以下であった原因>	O要 O不要		
協働の工夫		●⑥その他]								
		⟨その他の内容⟩ 該当なし													
			配慮の視点		取組む	内容		実施した具体的な内	容		環境	への配慮			
		□①自然環境を生	かしている							O①想定	どおり				
環境	環境に配慮して事業を進めて	□②生き物と共存 □③手賀沼を意識	している								とおりでなかった				
への配慮	いるか?	□④環境負荷低洞 ■⑤その他	に貢献している							<想定ど	おりでなかった原園	SI >	〇 要 〇 不要		
慮		<その他の内容>					1								
		該当なし													
				**	目標値の妥当性のチェック	7		状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成	 艾					
		現況値(a)(箇所)	目標値(b)(箇所	L 山 () 各 観 的 な テ ー	タ・事実に基づき設定している		実績値(f)(箇所)	達成率(%) (b/f×100)					O要 O = = = = = = = = = = = = = = = = = = =		
	(1)目標設定は適切か?	現況値(a)(箇所)		■②現況値と比べ	実現性が乏しい値ではない				- <目標を達成した理由/未達成			〇不要			
	(1)目標設定は適切か?		目標値(b)(箇所	■②現況値と比べ □③現況値との差 □④適当な比較対	が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ	る目標値(と現況値の差)と							012		
	(1)目標設定は適切か?	現況値(a)(箇所)		■②現況値と比べ □③現況値との差	が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ	る目標値(と現況値の差)と	実施	状況	○①想定事業費を		事業費	その削減対策について	012		
704	(1)目標設定は適切か?	現況値(a)(箇所)	2 る事業費削減 事業費削減額(i	■②現況値と比べ □③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で d) □①国・県助成制	が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF	I 等民間資本の活用	実施 実績値(g)(千円)	対事業費(%)	○①想定事業費表 ○②概ね想定事業 ○③想定事業費表	 費以内	○①事前の想定	?どおり			
	(1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をして	現況値(a)(箇所) 2 対策実施によ	2 る事業費削減	■②現況値と比べ □③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で d) □①国・県助成制 ■②現有体制での □③維持管理費の	が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益	I 等民間資本の活用 者負担			○②概ね想定事業	 費以内	○①事前の想定 ○②事前の想定	さどおり さどおりでなかった			
率		現況値(a)(箇所) 2 対策実施によ 事業費(c)(千円) 3,081	2 る事業費削減額((千円)	■②現況値と比べ □③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で d) □①国・県助成制 ■②現有体制での	が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益	I 等民間資本の活用 者負担		対事業費(%)	○②概ね想定事業	 費以内	○①事前の想定 ○②事前の想定	?どおり	〇要 〇不要		
率	(2)事業費削減の工夫をして	現況値(a)(箇所) 2 対策実施によ 事業費(c)(千円) 3,081 事業費肖	2 る事業費削減 事業費削減額((千円) 134 減率(%)	■②現況値と比べ □③現況値と比べ □④適当な比較対 同等の水準で d) □①国・県助成制 ■②現有体制での □③維持管理費の □④民間委託	が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益	I 等民間資本の活用 者負担	実績値(g)(千円)	対事業費(%)	○②概ね想定事業	 費以内	○①事前の想定 ○②事前の想定	さどおり さどおりでなかった	O要		
率	(2)事業費削減の工夫をして	現況値(a)(箇所) 2 対策実施によ 事業費(c)(千円) 3,081 事業費肖	2 る事業費削減 事業費削減額((千円) 134	■②現況値と比べ □③現況値と比べ □④適当な比較対 同等の水準で d) □①国・県助成制 ■②現有体制での □③維持管理費の □④民間委託	が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益	I 等民間資本の活用 者負担	実績値(g)(千円)	対事業費(%)	○②概ね想定事業 ○③想定事業費ま	養費以内 習過	○①事前の想定 ○②事前の想定 <想定どおり削減	さおり さどおりでなかった 或できなかった原因>	O要 O不要		
率	(2)事業費削減の工夫をして	現況値(a)(箇所) 2 対策実施によ 事業費(c)(千円) 3,081 事業費肖	2 る事業費削減 事業費削減額((千円) 134 減率(%)	■②現況値と比べ □③現況値と比べ □③現現域との差対 同等の水準で d) □①国・県助成制 ■②現有特ので □③維持管要理 ○削減の内容〉	が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益 削減策の実施 □⑦その・	I 等民間資本の活用 者負担 他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100 状況	○②概ね想定事業	《費以内 超過 	○①事前の想定 ○②事前の想定 <想定どおり削減	さどおり さどおりでなかった	O要 O不要		
率	(2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?	現況値(a)(箇所) 2 対策実施によ 事業費(c)(千円) 3,081 事業費肖	2 る事業費削減 事業費削減額((千円) 134 減率(%)	■②現況値と比べ □③現況値と比べ □④適当な水準で d) □①国・県助成制 ■②現有体制での □③維持管理費の □④民間委託 <削減の内容>	が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益 削減策の実施 □⑦その・	I 等民間資本の活用 者負担 他 性 生 単位/事業費	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○②概ね想定事業 ○③想定事業費息 ○①目標値以上	《費以内 超過 	○①事前の想定 ○②事前の想定 <想定どおり削減	さおり さどおりでなかった 或できなかった原因>	O要 O不要		
率	(2)事業費削減の工夫をしているか?(3)目標値を実現する為に	現況値(a)(箇所) 2 対策実施によ 事業費(c)(千円) 3,081 事業費肖	2 る事業費削減額((千円) 134 減率(%) 17 目標値対事業費(の)	■②現況値と比べ □③現況値と比べ □④適当な水準で d) □①国・県助成制 ■②現有体制での □③維持管理費の □④民間委託 <削減の内容>	が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益・ 削減策の実施 □⑦その・ 計算方注	I 等民間資本の活用 者負担 他 性 生 単位/事業費	実績値(g)(千円) <超過理由等> 達成	対事業費(%) (g/c)×100 状況 対目標値(%)	○②概ね想定事業費並 ○③想定事業費並 ○①目標値以上 ○②目標値と同様	《費以内 超過 	○①事前の想定 ○②事前の想定 <想定どおり削減	さおり さどおりでなかった 或できなかった原因>	○要 ○不要 ○不要		
率 性	(2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?	現況値(a)(箇所) 2 対策実施によ 事業費(c)(千円) 3,081 事業費肖	2 る事業費削減額((千円) 134 減率(%) 17 目標値対事業費(の)	■②現況値と比べ □③現況値と比べ □③週辺は比較対 同等の水準で d) □①国・県助成制 ■②現存特理費の □③維持管費 ○④民間委託 <削減の内容>	が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益・ 削減策の実施 □⑦その・ 計算方注	I 等民間資本の活用 者負担 他 性 生 単位/事業費	実績値(g)(千円) <超過理由等> 達成	対事業費(%) (g/c)×100 状況 対目標値(%)	○②概ね想定事業費並 ○③想定事業費並 ○①目標値以上 ○②目標値と同様	《費以内 超過 	○①事前の想定 ○②事前の想定 <想定どおり削減	さおり さどおりでなかった 或できなかった原因>	○要 ○不要 ○不要		
率 性	(2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? (目標対費用)	現況値(a)(箇所) 2 対策実施によ 事業費(c)(千円) 3,081 事業費肖	2 多事業費削減 事業費削減額((千円) 134	■②現況値と比べ □③現況値と比べ □③現況値との差対 □④適当な比較対 同等の水準で d) □①国・県助成制 ■②現有特配費の □③維持管理費の □④民間委託 <削減の内容> e) 費用単位 10万円	が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益・ 削減策の実施 □⑦その・ 計算方注 ●①単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値-可	I 等民間資本の活用 者負担 他 性 生 単位/事業費	実績値(g)(千円) <超過理由等> 達成	対事業費(%) (g/c)×100 状況 対目標値(%)	○②概ね想定事業費息 ○③想定事業費息 ○①目標値以上 ○②目標値以下	業費以内 経過 < 目様 程度	○①事前の想定 ○②事前の想定 <想定どおり削湯 「「「「「」」 「「「」」 「「」」 「「事情の関係」 「事情の関係」 「事情の 「事情の 「事情の 「事情の 「事情の 「事情の 「事情の 「事情の	さおり さどおりでなかった 或できなかった原因>	○要 ○不要 ○不要		
性 3 .	(2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用)	現況値(a)(箇所) 2 対策実施によ 事業費(c)(千円) 3,081 事業費肖	2 多事業費削減 事業費削減額((千円) 134	■②現況値と比べ □③現況値と比べ □③現況値との数対 □④適当な比較対 同等の水準で d) □①国・県助成制 ■②現結特管理費 □④民間委託 <削減の内容> e) 費用単位 II 10万円	が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益・ 削減策の実施 □⑦その・ 計算方注 ●①単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値-可	I 等民間資本の活用 者負担 他 と 単位/事業費 現況値)×費用単位/事業費	実績値(g)(千円) <超過理由等> 達成	対事業費(%) (g/c)×100 状況 対目標値(%)	○②概ね想定事業費息 ○③想定事業費息 ○①目標値以上 ○②目標値以下	《費以内 超過 	○①事前の想定 ○②事前の想定 <想定どおり削湯 「「「「「」」 「「「」」 「「」」 「「事情の関係」 「事情の関係」 「事情の 「事情の 「事情の 「事情の 「事情の 「事情の 「事情の 「事情の	さおり さどおりでなかった 或できなかった原因>	○要 ○不要 ○不要		
3 .	(2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用)	現況値(a)(箇所) 2 対策実施によ 事業費(c)(千円) 3,081 事業費肖	2 多事業費削減 事業費削減額((千円) 134	■②現況値と比べ □③現況値と比べ □③現況値との差対 □④適当な比較対 同等の水準で d) □①国・県助成制 ■②現有特配費の □③維持管理費の □④民間委託 <削減の内容> e) 費用単位 10万円	が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益・ 削減策の実施 □⑦その・ 計算方注 ●①単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値-可	I 等民間資本の活用 者負担 他 と 単位/事業費 現況値)×費用単位/事業費	実績値(g)(千円) <超過理由等> 達成	対事業費(%) (g/c)×100 状況 対目標値(%)	○②概ね想定事業費息 ○③想定事業費息 ○①目標値以上 ○②目標値以下	業費以内 経過 < 目様 程度	○①事前の想定 ○②事前の想定 <想定どおり削湯 「「「「「」」 「「「」」 「「」」 「「事情の関係」 「事情の関係」 「事情の 「事情の 「事情の 「事情の 「事情の 「事情の 「事情の 「事情の	さおり さどおりでなかった 或できなかった原因>	○要 ○不要 ○不要		

릨	業コード	524		i i	課コード	050	08	会計程	別介記	護保険特別会	計		予算の)種類	■政策	■経常	□なし
1.	事業の概要 (PLAN)																
		①事業名	基本事業							施計画への		有 〇無		2)部課名	健康福祉部	部・高齢者支援課	
		③事業主体	個別事業	高齢者なん ⁻ 〇その他	でも相談室の運行)				位置づけ 	□我孫子	□天王台	□湖北	□新木	□布佐	■全市	
(1) 国	業概要	⑤事業期間			平成2	29年度 ~			⑥担	当職員数			9 人	(換算人数		2.7 人) 23,760 千円)	
		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費			0 千円				(開始)年度	(当 初)	166	,344 千円 千円	(うち人件費)			
		⑧施策の位置づけ	施策		33204	重点プロジェクト 重点なし				計画地区別		有 ●無		部門別計画への	(計画名)	第7期介護保険事	事情 画信業
		施策目的・			せるよう、高齢	への位置づけ ^{里点なし} 者なんでも相談室などの相談機能や介護者への支援の充実に努め、高				への位置づけ		家族の生活全般に	わたる総合的	位置づけ な相談に応じ、が			
(2) 目	的	展開方向	とともに、	高齢者への	虐待の防止につい	ます。また、高齢者の権利 いて周知を進めます。 ************************************				事業目的	に受けられる。	よう各種機関との記	重絡調整を行	うことで、高齢者	皆及びその家!	各種の健康福祉サ 族等の福祉の向上	を図る。
			」「布佐・	・新木」各地[区高齢者なんで	相談室(高齢者支援課内) も相談室(地区の相談室に 業務(要支援者へのサート	は社会福祉法人に委	託)		当該年度	宅医療介護の村	相談窓口としての村	幾能も果たし	ている。委託して	こいる高齢者	加え、認知症の早 なんでも相談室と を実施する。<政	高齢者支援課内
(3) 導	業内容	内容	護業務(成	成年後見制度:	€予防ケアマネジメント業務(要支援者へのサービス利用支援)②総合相談支援業務③権利 ∮見制度利用支援、高齢者虐待への対応、消費者被害の防止等)④包括的・継続的ケアマネ; 係(介護支援専門員の指導、関係機関の連携支援等)⑤その他、家族介護教室の実施や市の∂					執行計画	は他の地区とは	北ベ、65歳以上の	の者が2倍程	度居住しているこ	こともあり、	北地区と南地区に 式により委託法人	分割して新たに
			<政策>利	残孫子地区は何	他の3地区と比り	S元気コール事業の実施等 べ、65歳以上の者が2倍程度居住していることと、相談者の利便性 を図るため、北地区と南地区に分割して新たに1カ所の相談室設置の I所の相談室を設置する。				当該年度	市と委託する語	こ我孫子南地区に 高齢者なんでも相			23, 500		
(4) '5	一件口插 / 物往子 7 代用\				区に新たな 1 箇月				石里	動結果指標	の合計件数半点	成31年度予測) 	+==		単位	実績値	(6) 日播坊
	成目標(期待する成果) 	高齢者やその家族	が生活全般の	の悩み等に関		標(期待する成果) 談を行う身近な場として、	高齢者なんでも相	談室を活用できる。		指標種類 直接	電話・来所・記		標		単位		(6)目標値 23,500
4	和 2年度	高齢者やその家族	が生活全般の	の悩み等に関	する総合的な相	談を行う身近な場として、	高齢者なんでも相	談室を活用できる。		直接	電話・来所・記	訪問件数			件	<u>.</u>	24, 000
ŕ	和 3年度	高齢者やその家族	が生活全般の	の悩み等に関	する総合的な相	談を行う身近な場として、	高齢者なんでも相	談室を活用できる。		直接	電話・来所・記	訪問件数			件	-	24, 500
(7) 事	業実施上の課題と対応					機能を果たすため、市民へ を増やし、相談・運営体制				替案検討	0	有●無					
			平成30)年度		平成31年度					<u> </u>	和 2年度	L		令	和 3年度	
		政策	内 容		金額(千円)	東				東	内容		金額(千円)	策:	内		金額(千円)
		我孫子地区相記 天王台地区相記 湖北・湖北台地	淡室委託料	: -		* 新規相談室 役務費	* 新規我孫子南地区相談室委託料 * 新規相談室 役務費·備品購入費			我孫子	北地区相談室委詞 南地区相談室委詞 地区和談室委託	托料	35, 36 24, 27 27, 75	4 我孫子南均	也区相談室委 也区相談室委 区相談室委託	託料	35, 364 24, 274 27, 757
		布佐・新木地図			27, 454		室委託料	40, 099 27, 757 29, 092		湖北・	地区相談室委託料 湖北台地区相談室委託料 新木地区相談室委託料		29, 09: 27, 56:	2 湖北・湖コ	比台地区相談 上台地区相談室 上地区相談室	室委託料	27, 757 29, 092 27, 563
		市相談室運営費 旅費 消耗品 研修負担金 費 用 臨時看護師賃金·交通費			110	布佐・新木地区相談 市相談室運営費		27, 563		市相談旅費	室運営費	1		市相談室道 9 旅費	営費		109
(8) 加	行事項			203 204 交通費 514		研修負担金 209			消耗品 研修負 臨時看		担金 護師賃金・交通 ³	#5	18. 20. 51.	9 研修負担金	: /月末品 : 研修負担金 : 臨時看護師賃金・交通費		182 209 514
	, g, m	保健的人件費 公用車燃料費、修繕料、手数料 損害保険料、重量稅、駐車場使用料 臨時保健師賃金等(産休育休代替分) 【臨時看護師等買金・交通費、保健師			1, 342 549	保健師人件費		1, 415 513		保健師			1, 41		中費 中費 科費、修繕料		1, 415 513
					1, 157	損害保険料、重量税 臨時看護師賃金等(7	、駐車場使用料 育休代替分)	105 1, 023		損害保	険料、重量税、 !	註車場使用料	10			駐車場使用料	105
		【臨時看護師等 人件費の歳入に 県12.5%、	は、国20%	٠,		【臨時看護師等人件 国25%、県12.5%、 【政策費にかかる歳	保険料等50%】				看護師賃金・交達 の歳入は、国20				護師賃金・交 憲入は、国2	通費、保健師	
		m 12. 570	()A()			国5,391千円、県2,6 保険料3,220千円	県2,695千円			1	. 5%、保険料!			1		%、保険料55%】	
	予算(決算)額		s 計		129, 092		計	142, 584			合 計		147, 09		合 計		147, 097
	国庫支出金 県支出金 起債	補助率		38. 5 % 9. 25 % 0 %	49, 137 24, 643	補助率	38. 5 % 19. 25 % 0 %	53, 271 26, 635		補助率 補助率 充当率		38. 5 % 19. 25 % 0 %	55, 22 28, 21			0 % 0 % 0 %	55, 226 28, 213 0
(9) 貝	源内訳 一般財源 その他の財源	□ 五三年	益 口基金 口		24, 661 30, 651	70-1-		29, 819 32, 859			会 口受益 口基金		29, 99 33, 66	0	□受益 □基:		29, 990 33, 668
(10)	換算人数(人) 正職員人件費				3 26, 400			2. 7 23, 760					2. 23, 76	7			2. 7 23, 760
	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額 (予算(決算)額+正職員人件費)				1, 342 1, 671 155, 492			1, 415 1, 537 166, 344					1, 34 51 170, 85	4			0 0 170, 857
(11)	(『子子(八子) 銀十二級員八円員/ 単位費用 (事業費/活動結果指標)		6. 91千円	円/件	155, 492		 7. 08千円/件	100, 344					170, 63	1			170, 837
	T FIRSC: TE ASTERITED IN																
2.	事業の評価(DO+CHECK	()															
2.	事業の評価 (DO+CHECK _{評価項目}		 	4. + 15. + N. T.		介 評 価			00+#1			価(評価結果に)	応じ、改善案	検討(拡充も含む	t))		改善検討
2.	評価項目	年々高齢者数が増 者やその家族の二	一ズに応える	る、地域の身	とする高齢者が 近な拠点として	増える中、総合的な相談での高齢者なんでも相談室(は必要である。			確認での想定 確認での想定			応じ、改善案	検討(拡充も含む	む))		
2.		年々高齢者数が増 者やその家族の二 また、地域での課 談支援体制の強化	ーズに応える 題に対応し、 と充実が必要	る、地域の身 身近な場で 要である。さ	とする高齢者が 近な拠点として の充実した相談 らに委託する高	増える中、総合的な相談る	は必要である。 委託する高齢者な 舌し、情報共有や連	んでも相談室の相	〇②事前	確認での想定	どおり	t:	応じ、改善案	検討(拡充も含む	む))		改善検討 〇要 〇不要
	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・	年々高齢者数が増 者やその家族の二 また、地域での課 談支援体制の強化 難な事例にはとも	一ズに応える 題に対応し、 と充実が必要 に取り組むる	る、地域の身 身近な場で 要である。さ 高齢者支援課 団体等では実	とする高齢者が: 近な拠点としていの充実した相談: らに委託する高 内の我孫子市高	増える中、総合的な相談をの高齢者なんでも相談室に 支援体制を構築するため、 齢者なんでも相談室を総持	は必要である。 委託する高齢者な 舌し、情報共有や連	んでも相談室の相	○②事前の <想定どお □①民間1	確認での想定 いとした理由 企業、NPO	どおり どおりでなかった h/想定どおりで 、市民団体等で1	た 「なかった原因> よ実施できなかっ」				由>	〇要
必 要	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・	年々高齢者数が増 者やその家族の二 また、接体制の強化 難な事例にはとも ●①民間企業、 (理由) □提供主	一ズに応える 題に対応の必要に取り組む トロの、実施で アロが実施が市した。	る、地域の身: 身近な場でである。さ 裏であるを接課 団体等では実 することが定	とする高齢者が: 近な拠点としていの充実した相談: らに委託する高 内の我孫子市高	増える中、総合的な相談名 の高齢者なんでも相談室に 支援体制を構築するため、 齢者なんでも相談室を終持 齢者なんでも相談室も必引	は必要である。 委託する高齢者な 舌し、情報共有や連	んでも相談室の相	〇②事前研 <想定どお □①民間1 □②市が1 □③市が5	確認での想定 いとした理印 企業、NPO 主導でとなっ	どおり どおりでなかった b/想定どおりで	た なかった原因> よ実施できなかっ; なかった				由>	〇要
必	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は	年々高齢者数が増 者やその家族の二 また、地域での課 談支援体制の強と 難な事例にはとも ●①民間企業、「 理由)■法会等主 □程供主	一ズに応えるし、 題とたまりい、実施の マールが市が作業する。 のでは、 マールが市では、 のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る、地域の身: 身近な場で。 要である。接課 団体等ではま はまない	とする高齢者が 近な拠点として の充実した相談 らに委託する高 内の我孫子市高 関節できない められている	増える中、総合的な相談室 の高齢者なんでも相談室に 支援体制を構築するため、 齢者なんでも相談室を終封 齢者なんでも相談室も必引 <その他の内容>	は必要である。 委託する高齢者な 舌し、情報共有や連	んでも相談室の相	○②事前 ○②事前 ○②事前 ○ 想定どお □①民間が □②市がが ので進 □④市が のである。 □③サート	確認での想想での想想での想想でののままでは、いいないでは、いいないでは、いいないでは、いいないでは、ないないでは、ないないでは、ないないでは、ないないでは、ないないでは、ないないでは、ないないでは、ないないないでは、ないないないでは、ないないないないでは、ないないないでは、ないないないないでは、ないないないないでは、ないないないないないないないないないないでは、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	どおりでなかった。 とおりでなかった。 ・市民団体等でには、 ・市民団体等がたった。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た なかった原因> よ実施できなかっ; なかった 普及が一層 現に貢献した				由>	О 要 О т要
必要	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)	年々高齢者数が増 者やその家族の二課 また、地域での強化 難な事例にはとも ●①民間企業、↑ (理由) ■ 法会生 □ 日後の他 〇②自治体である (理由) □市が実	一題とに Nで体 5 導施・ たっぱん 必要語 民 すってる 進る 大手 の の が 市 で ・ 提 め 供 進 る 供 まって を まって を かった	る、地域の身である。 身であるを援課 団体等ではました。 であるを関すない。 であるとがはました。 であるとがない。 であるといる。 であるといるといる。 こことにといる。	とする高齢者が 近な拠点として の充実した相談 らに委託する高 内の我孫子市高 関節できない められている	増える中、総合的な相談室 の高齢者なんでも相談室に 支援体制を構築するため、 齢者なんでも相談室を総計 齢者なんでも相談室も必動 <その他の内容>	は必要である。 委託する高齢者な 舌し、情報共有や連	んでも相談室の相	○②事前 ○②事前 ○②事前 ○②事前 ○②事前 ○②市が ○②市が ・	確認での想要である。 な主等には、N進としい。 の主を支援をは、N進としい。 の主を支援でいる。 の主を支援でいる。 の主には、N進としている。 の主には、N進としている。 ででは、N進としている。 ででは、N進としている。 ででは、N進としている。 ででは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	どおりでなかった とおりでなかった を 一想定どおりで 、市民団体等で ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実	た なかった原因> よ実施できなかっ; なかった 普及が一層 現に貢献した				由>	〇要 〇不要
必要	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は あるか?	年々高齢者数が増 者やその家族の二 また、地域での課化 難な事例にはとも ●①民間重法供生 (理由)□表供主 (理由)□表供主 (理由)□表供主 (理由)□表供主 (理由)□市がよ (理由)□市がよ リードが支	一題とに Pで体 お 導施 ス で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	る、地域な場では、 身近な場でする。 身で者者では、 である。接ばは定じである。 である。というであります。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 であいる。 でっと。 であいる。 であいる。 であいる。 であいる。 であいる。 であいる。 であいる。 であいる。 であい。 であいる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	とする高齢者が 近な拠点とした相談 の充実した相談 らに委託する市高 関係できない められている 効性が得られる	増える中、総合的な相談室 の高齢者なんでも相談室に 支援体制を構築するため、 齢者なんでも相談室を総計 齢者なんでも相談室も必動 <その他の内容>	は必要である。 委託する高齢者な 舌し、情報共有や連	んでも相談室の相	○②事前	確認での想要である。 な主等には、N進としい。 の主を支援をは、N進としい。 の主を支援でいる。 の主を支援でいる。 の主には、N進としている。 の主には、N進としている。 ででは、N進としている。 ででは、N進としている。 ででは、N進としている。 ででは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	どおりでなかった。 とおりでなかった。 ・市民団体等でには、 ・市民団体等がたった。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た なかった原因> よ実施できなかっ; なかった 普及が一層 現に貢献した				l·由>	О 要 О т要
必要	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は あるか?	年々高齢者数が増 者やその家族の二 また、地域での課化 難な事例にはとも ●①民間重法供生 (理由)□は提供主 ○②自治は市が第 ・サービを ・サービを ・サービを ・サービを ・サービを	一題た取り、Pで体 あ 導施 が 提り	る、地域な場でさ 身である 身である支援 関 動がある支援 関 は は は は は な り で よ で よ で よ で よ で よ で よ で よ で よ で よ い し い と き に と ら に と ら に と ら に と ら に と ら に ら し に と ら し こ と ら し こ と ら し こ と ら し こ と ら こ こ と ら し こ と ら こ こ と ら し こ と ら い こ と と り こ と と り こ と と り こ と と り こ と と り こ と と り こ と と り こ と と り こ と と り こ と と り こ と と り こ と と り こ と と り と こ と と り こ と と り こ こ と と り こ こ と と り こ と と り こ と と こ と こ	とする高齢者が 近な拠点と相談 の充実記する高 内の我孫子市高 とをできない められている 対性が得安定し 効、良質で安定し	増える中、総合的な相談室 の高齢者なんでも相談室は 支援体制を構築するため、 齢齢者なんでも相談室を総計 齢者なんでも相談室も必引 <その他の内容>	は必要である。 委託する高齢者な 長し、情報共有や連 要である。	んでも相談室の相	○②事前の <想定どお □①民間が □②市が。 □③市が。 ②もサーし □⑤サーし □⑦その他の 実施し	確認での想定日の人を注意を表する。 「N進と POなな 策導等化大が水学を対して、N進と では、N進とでは、では、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nができる。 「Nができる。」では、Nができる。 「Nができる。これできる。。 「Nができる。これできる。。 「Nができる。これできる。。	どおりでなかっつ。 日/想定どおりで 、市民団体等で 、けたことで 施策の目標の実 保含基盤が確保され 動の具体的な内容	た た		の具体的な内容	・必要性の理		О 要 О т要
必要性	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は あるか?	年々高齢者数が増生される。 年々高齢者数が増生また。 また、 また、 また、 また、 まを、 また、 まを、 また、 まを、 また、 まを、 また、 また	一題た取 P で体 あ 導施 ス 援 図 P で 体 あ 導 施 ス 援 g ら で は か で と は が で と と は が で と は が む で な か で な な な か で な な な な	る、地域な場では 身でする 身である支 要 い が 場の も ま で お は な 場。 を き に と と と と と と と と と と と と と と と と と と	とする高齢者が 近な拠点と相談 の充実記する高 内の我孫子市高 とをできない められている 対性が得安定し 効、良質で安定し	増える中、総合的な相談室 の高齢者なんでも相談室は 支援体制を構築するため、 齢齢者なんでも相談室を総計 齢者なんでも相談室も必引 <その他の内容>	は必要である。 委託する高齢者な 舌し、情報共有や連	んでも相談室の相	○②事前の <想定どお □①民間が □②市が。 □③市が。 ②もサーし □⑤サーし □⑦その他の 実施し	確認での想定日の人を注意を表する。 「N進と POなな 策導等化大が水学を対して、N進と では、N進とでは、では、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nができる。 「Nができる。」では、Nができる。 「Nができる。これできる。。 「Nができる。これできる。。 「Nができる。これできる。。	どおりでなかった。 ・市民団体等でが、 ・市民団体等でが、 ければ実効性が、 たことで市民へう 施策の目標の実現 保された。 給基盤が確保された。	た た	たく市実施	の具体的な内容 参加・協 の期待した以上	・必要性の理		О 要 О т要
必要性参加・	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	年々高齢者数が増 者やのでは、 また、地域での強化とも ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	一題とに Nで体 お導施ス援図 ににて Nで体 お導施ス援図 ににて ができ 提保るれ 加 ののののができ 提保の かいののののののののののののののののののののののののののののののののののの	る、身で高いない。 べことのよう 要高 団すない べことこる りゅうでき 深い きにと りゅうりゅう からに 政策 容の おりょう からい	とする高齢者が 近な拠点と相談 の充実記する高 内の我孫子市高 とをできない められている 対性が得安定し 効、良質で安定し	増える中、総合的な相談室 の高齢者なんでも相談室は 支援体制を構築するため、 齢齢者なんでも相談室を総計 齢者なんでも相談室も必引 <その他の内容>	は必要である。 委託する高齢者な 長し、情報共有や連 要である。	んでも相談室の相	○②事前の <想定どお □①民間が □②市が。 □③市が。 ②もサーし □⑤サーし □⑦その他の 実施し	確認での想定日の人を注意を表する。 「N進と POなな 策導等化大が水学を対して、N進と では、N進とでは、では、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nができる。 「Nができる。」では、Nができる。 「Nができる。これできる。。 「Nができる。これできる。。 「Nができる。これできる。。	どおりでなかっつ。 日/想定どおりで 、市民団体等で 、けたことで 施策の目標の実 保含基盤が確保され 動の具体的な内容	た た	た <市実施 〇①当名 〇②当名	の具体的な内容	・必要性の理		○要 ○不要○要 ○不要
必要性参加・	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	年々高齢者数が増 者やその場での課 また、地域での強化も また、関係を (理由) ■①はは (理由) ■②は (理由) □ は (理由) □ は	一題とに Nで体 あ 導施 ス 援図 で 体	る、要高 はない べこるのよう 要高 はない べこるのよう 要高 はない きにと りの内 はりりして ありよい 変容 のりりして ひまり から ない から	とする高齢者が 近な拠点と相談 の充実記する高 内の我孫子市高 とをできない められている 対性が得安定し 効、良質で安定し	増える中、総合的な相談室 の高齢者なんでも相談室は 支援体制を構築するため、 齢齢者なんでも相談室を総計 齢者なんでも相談室も必引 <その他の内容>	は必要である。 委託する高齢者な 長し、情報共有や連 要である。	んでも相談室の相	○②事前の <想定どお □①民間が □②市が。 □③市が。 ②もサーし □⑤サーし □⑦その他の 実施し	確認での想定日の人を注意を表する。 「N進と POなな 策導等化大が水学を対して、N進と では、N進とでは、では、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nができる。 「Nができる。」では、Nができる。 「Nができる。これできる。。 「Nができる。これできる。。 「Nができる。これできる。。	どおりでなかっつ。 日/想定どおりで 、市民団体等で 、けたことで 施策の目標の実 保含基盤が確保され 動の具体的な内容	た た	た <市実施 〇①当れ 〇②当れ 〇③当れ	の具体的な内容 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり のの期待以下	・必要性の理		○要 ○不要○の要 ○不要
必要性参加·協學	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	年々高齢者数が増二課を	一題とに Nで体 お導施ス援図 にここののの動を でかができ、 からののの動を では、 P で体 おできなしい から では、 P で からです。	る、要高 はない べこるのよう 要高 はない べこるのよう 要高 はない きにと りの内 はりりして ありよい 変容 のりりして ひまり から ない から	とする高齢者が 近な拠点と相談 の充実記する高 内の我孫子市高 とをできない められている 対性が得安定し 効、良質で安定し	増える中、総合的な相談室 の高齢者なんでも相談室は 支援体制を構築するため、 齢齢者なんでも相談室を総計 齢者なんでも相談室も必引 <その他の内容>	は必要である。 委託する高齢者な 長し、情報共有や連 要である。	んでも相談室の相	○②事前の <想定どお □①民間が □②市が。 □③市が。 ②もサーし □⑤サーし □⑦その他の 実施し	確認での想定日の人を注意を表する。 「N進と POなな 策導等化大が水学を対して、N進と では、N進とでは、では、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nがでは、Nができる。 「Nができる。」では、Nができる。 「Nができる。これできる。。 「Nができる。これできる。。 「Nができる。これできる。。	どおりでなかっつ。 日/想定どおりで 、市民団体等で 、けたことで 施策の目標の実 保含基盤が確保され 動の具体的な内容	た た	た <市実施 〇①当れ 〇②当れ 〇③当れ	の具体的な内容 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり のの期待以下	・必要性の理	内容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性参加・	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	年々高齢者数が増二 者ややこの域での強化と また、現体例に企業、等主た、現体例に企業、等等主のではである。 「理由」 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	一題とに Nで体 あ で 施ス援図 で T で 体 な で で が で 走 保 で い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	る、身で高、団すないできにとりいりできまれています。 ちょう の 内 りょう できにという いっちょう できい からい からい からい からい からい からい からい からい からい から	とする高齢者が 近な拠点と相談 の充実記する高 内の我孫子市高 とをできない められている 対性が得安定し 効、良質で安定し	増える中、総合的な相談室 の高齢者なんでも相談室は 支援体制を構築するため、 齢齢者なんでも相談室を総計 齢者なんでも相談室も必引 <その他の内容>	は必要である。要素が一般である。要素が一般である。最初である。最初である。	んでも相談室の相	○②事前の <想定どお □①民間が □②市が。 □③市が。 ②もサーし □⑤サーし □⑦その他の 実施し	確認での想定 いればとした いればと の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 の	どおりでなかった。 自/想定どおりで 、市民団体等でが、 、市にと実現効市民、実際のでは、 たことの目標では、 施策のもた。 施策されば、 を基盤が、確保される場合には、 動の具体的な内容。	た た	た <市実施 〇①当れ 〇②当れ 〇③当れ	の具体的な内容 参加・協 刃期待した以上 刃期待したとおり 刃の期待以下 た以上となったま	・必要性の理路働の程度・「	内容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性参加・	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	年々高齢者数が増二また。 「中本のでは、 「中本のでは	一題とに Pで体 お導施ス援図 にここですで になが が市 が市で・がすら 参 民民民活業 P 市が市 がで・投保るれ 加 ののの動を 配 て は ののの動を 配 で な で な は 協 画画連施 慮 のる	る、身できまい ありできまい の場の表 身でさまます。 からできまます。 なりできまます。 なりできまます。 なりできまます。 なりできまます。 なりの内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内の内	とする高齢者が 近な拠点と相談 の充実記する高 内の我孫子市高 とをできない められている 対性が得安定し 効、良質で安定し	増える中、総合的な相談室 の高齢者なんでも相談室は 支援体制を構築するため、 齢齢者なんでも相談室を総計 齢者なんでも相談室も必引 <その他の内容>	は必要である。 委託する高齢者な 長し、情報共有や連 要である。	んでも相談室の相	○②事前の <想定どお □①民間が □②市が。 □③市が。 ②もサーし □⑤サーし □⑦その他の 実施し	確認での想定 いればとした いればと の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 の	どおりでなかっつ。 日/想定どおりで 、市民団体等で 、けたことで 施策の目標の実 保含基盤が確保され 動の具体的な内容	た た	た <市実施 O①当れる O②当れる O③当者 ○切ける O①のの 「関係を 「関係	の具体的な内容 参加・協 刃期待した以上 刃助物特したとおり た以上となったま た以上となったま	・必要性の理 高働の程度・「 里由/期待以 境への配慮	内容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性参加・協働の工夫環境	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	年々高齢者教が増二 乗々高齢者教をの域での強化当 素た、関●①はでは、等主 ・ (理由) ②(理由) ②(理由) ②(理由) ③(理由) ③(理由) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	一題とに Pで体 る導施ス援図 市市市な事 にていいに応が4組 市実し 推め供証こる 加 ののの動を 配 ていいになが4組 市実し 推め供証こる かののの動を 配 ていいになが4組 市実し 進るすさと 協 画画画連施 のる	る、身では ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	とする高齢者が 近な拠点と相談 の充実記する高 内の我孫子市高 とをできない められている 対性が得安定し 効、良質で安定し	増える中、総合的な相談室 の高齢者なんでも相談室は 支援体制を構築するため、 齢齢者なんでも相談室を総計 齢者なんでも相談室も必引 <その他の内容>	は必要である。要素が一般である。要素が一般である。最初である。最初である。	んでも相談室の相	○②事前の <想定どお □①民間が □②市が。 □③市が。 ②もサーし □⑤サーし □⑦その他の 実施し	確認での想定 いればとした いればと の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 の	どおりでなかった。 自/想定どおりで 、市民団体等でが、 、市にと実現効市民、実際のでは、 たことの目標では、 施策のもた。 施策されば、 を基盤が、確保される場合には、 動の具体的な内容。	た た	た <市実施 O①当当を O②当当を O②はまる O②想が O②を O②を O②を O②を O②を O②を O②を O②を O②を O②	の具体的な内容 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり のの期待以下 た以上となったま 環	・必要性の理 協働の程度・「 里由/期待以 境への配慮 た	内容	○ 要 ○ 不要 ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で
必要性参加・協働の工夫環境	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	年々高齢者務が増二課化者を持ている。 「等主体の ない は を は で の は と 、	一題とに Pで体 5-導施ス援図 では、すぎ、では、 1 では、	る、身では ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	とする高齢者が 近な拠点と相談 の充実記する高 内の我孫子市高 とをできない められている 対性が得安定し 効、良質で安定し	増える中、総合的な相談室 の高齢者なんでも相談室は 支援体制を構築するため、 齢齢者なんでも相談室を総計 齢者なんでも相談室も必引 <その他の内容>	は必要である。要素が一般である。要素が一般である。最初である。最初である。	んでも相談室の相	○②事前の <想定どお □①民間が □②市が。 □③市が。 ②もサーし □⑤サーし □⑦その他の 実施し	確認での想定 いればとした いればと の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 の	どおりでなかった。 自/想定どおりで 、市民団体等でが、 、市にと実現効市民、実際のでは、 たことの目標では、 施策のもた。 施策されば、 を基盤が、確保される場合には、 動の具体的な内容。	た た	た <市実施 O①当当を O②当当を O②はまる O②想が O②を O②を O②を O②を O②を O②を O②を O②を O②を O②	の具体的な内容 参加・協 の期待した以上 の別期待したとおり でとなったま を以上となったま	・必要性の理 協働の程度・「 里由/期待以 境への配慮 た	内容	○ 要 ○ 不要 ○ ○ 不要 ○ ○ 不要
必要性参加・協働の工夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	年々高齢者家が増二課を (平本) (平本) (平本) (平本) (平本) (平本) (平本) (平本)	一題とに Pで体 5-導施ス援図 では、すぎ、では、 1 では、	る、身では ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	とする高齢者が 近な拠点と相談 の充実記する高 内の我孫子市高 とをできない められている 対性が得安定し 効、良質で安定し	増える中、総合的な相談室 の高齢者なんでも相談室は 支援体制を構築するため、 齢齢者なんでも相談室を総計 齢者なんでも相談室も必引 <その他の内容>	は必要である。要素が一般である。要素が一般である。最初である。最初である。	んでも相談室の相	○②事前の <想定どお □①民間が □②市が。 □③市が。 ②もサーし □⑤サーし □⑦その他の 実施し	確認での想定 いればとした いればと の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 の数な ・では、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 の	どおりでなかった。 自/想定どおりで 、市民団体等でが、 、市にと実現効市民、実際のでは、 たことの目標では、 施策のもた。 施策されば、 を基盤が、確保される場合には、 動の具体的な内容。	た た	た <市実施 O①当当を O②当当を O②はまる O②想が O②を O②を O②を O②を O②を O②を O②を O②を O②を O②	の具体的な内容 参加・協 の期待した以上 の別期待したとおり でとなったま を以上となったま	・必要性の理 協働の程度・「 里由/期待以 境への配慮 た	内容	○ 要 ○ 不要 ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で
必要性参加・協働の工夫環境	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	年々高齢者家が増二課を	一題とに Pで体 5-導施ス援図 では、すぎ、では、 1 では、	る、要高 は は は は は は は は は は は は は	とする高高とはない。 という	増える中、総合的な相談室にの高齢者なんでも相談室に支援体制を構築するため、 静齢者なんでも相談室を総対 《その他の内容》	は必要でする高齢者な連要でする高齢者や連要でする高齢者を表し、情報をしたがある。	んでも相談室の相	○②事前の	確認でのした。 のした。 のした。 のした。 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 では、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	どおりでなかっつ。 日 / 想定 どおりでなかっつ。 「	た た	た <市実施 OT当当名 O(2)当当名 <期待し O(2)想 <規定 <想定 ど	の具体的な内容 参加・協 の期待した以上 の別期待したとおり でとなったま を以上となったま	・必要性の理 協働の程度・「 里由/期待以 境への配慮 た	内容	○ 要 ○ 不要 ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で
必要性参加・協働の工夫環境への配慮	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	年々高齢者数が増二課化も 「等主他を持た、接例には 全法供例には 全法供例には 全法供例に 20日 日間 □ □ □ □	一題とに Nで体 お導施ス援図 市市内で Pで E P B B B B B B B B B B B B B B B B B B	る、身を節 団すな べこもれこ 働 有有有携 つ視 い つ) (件) りゅうでき 課 (ま定) る実り・) からで まい きにと り の りりり て からに 政 容 の もりに 政 容 の もりに 政 容 の もりに 政 で からに 政 で からい の) (他) □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	と近の充ら内の と	増える中、総合的な相談室の高齢者なんでも相談室に支援体制を構築するため、特計をあるでも相談室を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	は必要でする高齢者なる。要素に大の表を表し、情報を表し、情報を表し、特別を表し、対象を、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を、対象を表し、対象を、対象を、対象を、対象を、対象を、対象を、対象を、対象を、対象を、対象を	んでも相談室の相携を図りつつ、困	○②事前の <想定どお □①民間が □②市が。 □③市が。 ②もサーし □⑤サーし □⑦その他の 実施し	確認で りとし、 N進と P P A な 策 神 P P A な 策 神 P P A な 策 神 R P P A な 策 が 安 P A M M M M M M M M M M M M M M M M M M	どおりでなかっつ。 日 / 想定 どおりでなかっつ。 「	た でなかった原因> よ実施できなかった いなが一層 現に貢献した れた タ(又は今後、 はその内容)	た <市実施 O①当当者 O②3 当	の具体的な内容 参加・協 の期待したい上 の期待したと下 た以上となった ま とどおり でなかった 原	・必要性の理 高働の程度・「 里由/期待以 境への配慮 た	内容	○ 要 ○ 不要 ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で
必要性参加・協働の工夫環境への配慮	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (本制づくり) (本制づくり)	年々高齢者務が増二課化を 1 年 2 年 3 年 3 年 4 年 4 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 日 5 日 5 日 5	一題とに Pで体 る導施ス援図	る、身できます。 回すな ペニころ	と近の充ら内の と	増える中、総合的な相談室にの高齢者なんでも相談室に支援体制を構築相談室もを終齢者なんでも相談室をも着者なんでも相談室をもいる。	は必要でする。 要を表し、 をまし、 をも、 をも、 をも、 をも、 をも、 をも、 をも、 をも	んでも相談室の相携を図りつつ、困	○②事前の	確認で りとし、 N 進と P O なっ 年 確 供 P O なっ 年 確 供 P O なっ 年 確 供 P O なっ 年 で 供 P O なっ 年 で 供 P O なっ 年 で 供 B を を は M が が タン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	どおりでなかっつ。 A / 想定どおりで 、	た なかった原因> は実施できなかった いながった 音及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 はその内容)	た <市実施 O①当当当当当当当当当当当当当当当当当当当当当当当当当当当当当当当当当 < 想定ど	の具体的な内容 参加・協 の期待したととおり の期待したととおり た以上となった 環 をどおりでなかった 原 成となった原因>	・必要性の理 協働の程度・「 理由/期待以 境への配慮 た 原因>	内容	○
必要性参加・協働の工夫環境への配慮	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (本制づくり) (本制づくり)	年々高齢者数が増二まる。	一題とに Nで体 高導施ス援図 では、要素 では、 1	る、身でも は域なる支 要高 団すな ペニとこも り 内 りりりして でよに よ 策 を でか よい まにと り の りりりして いっとこと い の 内 りりりして いっかい (件)	と近の充ら内の と	増える中、総合的な相談での高層を持ちている。 という はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はい	ta 要要する。 要表し、ある。 を表し、ある。 を表し、ある。 を表し、ある。 を表し、ある。 を表し、ある。 を表し、ある。 おる高井有や本連 のののでする。 である高井有や本本のでする。 である高井有や本本のでする。 である高井有や本本のでする。 である高井有や本本のでする。 である高井有や本本のでする。 である。 である高井有や本本のでする。 である。 である高井有や本本のでする。 である高井有や本本のでする。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 でい。 でいる。	んでも相談室の相 携を図りつつ、困	○②事前の	確認で い と い	どおりでなかった。 「おりでとおりでは、 一をできないでは、 一をできないでは、 では、 一をできないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	た に なかった原因 > は ま実施できなかっ に ま実施できなかっ に	た マー	の具体的な内容	・必要性の理 協働の程度・「	内容 下であった原因 >	○
必要性参加・協働の工夫環境への配慮 効	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (1) 目標のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、」では、、」では、「のでは、」では、、「のでは、、」では、「のでは、」では、「のでは、」では、、「のでは、」では、「のでは、」では、、では、、では、、では、、では、、では、、では、、では、、では、では、では	年々高齢者務が増二課化を 1 年 2 年 3 年 3 年 4 年 4 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 日 5 日 5 日 5	一題とに Nで体 る導施ス援図 市市市なりで 上手戦域 P で体 なっさと 協 画画画連施 のる て は 23,51 ににこかで 上手戦域 F で なっさと は M 画画画連施 は 3,51 ににこかで 上手戦域 F で なっさと は M 画画画連施 は 3,51 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に	る、身できまり、 う で さ に と り の り りり し て こるれこよ し の 内 りりり し て こるれこよ し の 内 りりり し て こるれこよ の の りりり し て い と こる と は 、 策 で か の い の の の の の の の の の の の の の の の の の	と近の充ら内の にの を が に が に が に が に が に が に が に か に か に か に	増える中、総合的な相談での高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の	は必要にする。 ままで ある かまま である かまま である かまま である かまま である かまま である かまま である 高 美 本 の 具体的な 内容 かまま である 内容 かまま から の 見 かまま かっか でい 例に おける 目標値 (んでも相談室の相 携を図りつつ、困	〇②事前の	確認で い と い	どおりでなかっつ。 日/想定どおりで 、	た でなかった原因 > は実施できなかった ま実施できなかった 音及 の の の の の 日 に の の の の 日 日 に に の の の の 日 日 に に に の の の の の の の	た マー	の具体的な内容 参加・協 が別期待したととおり が以上となった 環とどおりでなかった がないった 成となった 事前の の② 事前の の② の の の の の の の の の の の	・必要性の理 協働の程度・「	内容 下であった原因> 策について なかった	○要 ○不要 ○○不要 ○○不要 ○○○不要 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
必要性参加・協働の工夫環境への配慮	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (本制づくり) (本制づくり) (1) 目標設定は適切か?	年々高齢者務が増二課化・ ・	一題とに Nで体 高導施ス援図 では、 1 では、1 では、	る、身でも課 (また) からい で は で で で で と に と り い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	と近の充ら内の と	増える中、総合的な相談での高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の	は要ない。 は必要した。 を表してである。。 を表してである。 を表した。 をました。 をまたた。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。	んでも相談室の相 携を図りつつ、困	〇②事前の	確認で い と に	どおりでなかった。 「おりでとおりでは、 一をできないでは、 一をできないでは、 では、 一をできないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	た に なかった原因 > は ま実施できなかっ に ま実施できなかっ に	た マー	の具体的な内容	・必要性の理 協働の程度・「	内容 下であった原因> 策について なかった	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性参加・協働の工夫環境への配慮 効率	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (1) 目標のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、」では、、」では、「のでは、」では、、「のでは、、」では、「のでは、」では、「のでは、」では、、「のでは、」では、「のでは、」では、、では、、では、、では、、では、、では、、では、、では、、では、では、では	年々高齢者数が増二課金 (平本) (平本) (平本) (平本) (平本) (平本) (平本) (平本)	一題とに Nで体 5 導施ス援図	る、身でも課 (また) からい で は で で で で と に と り い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	と近の充ら内 をめ 効、 施 を近の方に内 の をめ が 、 施 を が で れ い る を で れ い る を な	増える中、総合的な相談での高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の	は要ない。 は必要した。 を表してである。。 を表してである。 を表した。 をました。 をまたた。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。	んでも相談室の相 携を図りつつ、困	○②事前の	確認で い と に	どおりでなかった。 「おりでとおりでは、 一をできないでは、 一をできないでは、 では、 一をできないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	た に なかった原因 > は ま実施できなかっ に ま実施できなかっ に	た マー	の具体的な内容 参加・協 が別期待したととおり が以上となった 環とどおりでなかった がないった 成となった 事前の の② 事前の の② の の の の の の の の の の の	・必要性の理 協働の程度・「	内容 下であった原因> 策について なかった	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (本制づくり) (1) 目標設定は適切か? (1) 目標設定は適切か? (2) 事業費削減の工夫をしているか?	年々高齢者数が増二課金 (平本) (平本) (平本) (平本) (平本) (平本) (平本) (平本)	一題とに Nで体 高導施ス援図 市市市な事業 にここうで E F F 張成	る、身できまり で さにと り の の が	と近の充ら内 をめ 効、 施 を近の方に内 の をめ が 、 施 を が で れ い る を で れ い る を な	増える中、総合的な相談での高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の	は要ない。 は必要した。 を表してである。。 を表してである。 を表した。 をました。 をまたた。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。 をました。	んでも相談室の相 携を図りつつ、困	○②事前の	確認で い と に	どおりでなかった。 「本本のでは、	た なかった原因 > はなかった原因 > はまんできなかった原因 > はまんできなかった	た	の具体的な内容 参加・版 が加川期待したした以上 りりにした以上 なった 記 をとどおおりでなかった 原 をとどおおでなかった 原 本部前前 おり に マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・	・必要性の理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容 下であった原因> 策について なかった	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (1) 目標のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、」では、、」では、「のでは、」では、、「のでは、、」では、「のでは、」では、「のでは、」では、、「のでは、」では、「のでは、」では、、では、、では、、では、、では、、では、、では、、では、、では、では、では	年々高齢者数が増二課金 (平本) (平本) (平本) (平本) (平本) (平本) (平本) (平本)	一題とに Nで体 高導施ス援図 市市内な事 ににて対象 P 市が ができ 接続 P 下で体 高導施ス援図 市市内な事 P 市が ができ 接続 P 下で P 下	る。身でも深い ない きにと り い ない な	と近の充ら内の に か が に か に か に か に か に か に か に か に か に	増える中、総合的な相談での高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の	は必要した。 本が要した。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表していいののでは、 できるのできるのでは、 できるのでできるのでは、 できるでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	んでも相談室の相 携を図りつつ、困 と現況値の差)と 本の活用	○②事前の	確認で らり と	どおりでなかった。 「本本のでは、	た でなかった原因 > は実施できなかった	た	の具体的な内容 参加・版 が加川期待したした以上 りりにした以上 なった 記 をとどおおりでなかった 原 をとどおおでなかった 原 本部前前 おり に マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・	・必要性の理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容 下であった原因> 策について なかった った原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (1) 目標の参加や市民との協働を工夫しているか? (本制づくり) (1) 目標設定は適切か? (1) 目標設定は適切か? (2) 事業費削減の工夫をしているか? (3) 目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? (6) 情標対費用)	年々高齢者数が増二課化も 「等主他 を注している。 「等主他 を注している。 「等主他 でかが一の強と 、 「等主他 でかが一の強と でかが一のでは、 「等主他 でかが一つでは、 「等主他 でもない。 「「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」 「」 「」 「」 「」 「	一題とに Nで体 高導施ス援図 市市内な事 ににて対象 P 市が ができ 接続 P 下で体 高導施ス援図 市市内な事 P 市が ができ 接続 P 下で P 下	る、身できまり で かよに	と近の方に内 に か か 、 施	増える中、総合的な相談での高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の表に表して、	は必要した。 本が要した。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表していいののでは、 できるのできるのでは、 できるのでできるのでは、 できるでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	んでも相談室の相 携を図りつつ、困 と現況値の差)と 本の活用	○②事前が く 想定 ど お 間が 3 (4) サイト (1) で	確認で らり と	どおりでなかった。 田/ 想定どおりで 、けた 第でがへ 施保 を	た でなかった原因 > はなかった原因 > はまたできなかった原因 にできなかった 原	た	の具体的な内容 参加・版 が加川期待したした以上 りりにした以上 なった 記 をとどおおりでなかった 原 をとどおおでなかった 原 本部前前 おり に マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・	・必要性の理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容 下であった原因> 策について なかった った原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性参加・協働の工夫環境への配慮 効率性 3・	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (1) 目標との協働を工失しているか? (体制づくり) (1) 目標設定は適切か? (2) 事業費削減の工夫をして、投じる事業費は適正か? (1) 目標対費用)	年々高齢者務が増二課化・ ・	一題とに Nで体 5- 導施ス援図 市市市なりで E-P 戦域 P- で体 5- 導施ス援図 市市市なり P- で体 5- 導施ス援図 市市市なり P- でか が 2- では、 5- で	る。 要高	と近の充ら内を	増える中、総合的な相談での高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の表によるためにあるを構築をしまれるでもも相談をできませる。 マーカー 「単準がしてはない。 「はいいなりをできまれば、「はいいなりないないないないないないないないないないないないないないないないないな	は必要した。 ま必要した。 を表してのある。 を表してのある。 を表してのからる。 を表している。 をましている。 を表している。 をましている。 をましている。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	と現況値の差)と本の活用 費用単位/事業費	○②事前が く 想定 ど お 間が 3 (4) サイト (1) で	確認で らり と	どおりでなかった。 田/ 想定どおりで 、けた 第でがへ 施保 を	た でなかった原因 > はなかった原因 > はまたできなかった原因 にできなかった 原	た	の具体的な内容 参加・版 が加川期待したした以上 りりにした以上 なった 記 をとどおおりでなかった 原 をとどおおでなかった 原 本部前前 おり に マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・マース・	・必要性の理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容 下であった原因> 策について なかった った原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性参加・協働の工夫環境への配慮 効率性 3・	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (1) 目標の参加や市民との協働を工夫しているか? (本制づくり) (1) 目標設定は適切か? (1) 目標設定は適切か? (2) 事業費削減の工夫をしているか? (3) 目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? (6) 情標対費用)	年々高齢者務が増二課化・ ・	一題とに Nで体 高導施ス援図 市市内な事 ににて対象 P 市が ができ 接続 P 下で体 高導施ス援図 市市内な事 P 市が ができ 接続 P 下で P 下	る。身でも深い ない きにと り い ない な	と近の充に内の とめ	増える中、総合的な相談での高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の高齢の表によるためにあるを構築をしまれるでもも相談をできませる。 マーカー 「単準がしてはない。 「はいいなりをできまれば、「はいいなりないないないないないないないないないないないないないないないないないな	は必要した。 本が要した。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表してである。 を表していいののでは、 できるのできるのでは、 できるのでできるのでは、 できるでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	と現況値の差)と本の活用 費用単位/事業費	○②事前が く 想定 ど お 間が 3 (4) サイト (1) で	確認で らり と	どおりでなかった。 田/ 想定どおりで 、けた 第でがへ 施保 を	た でなかった原因 > はなかった原因 > はまたできなかった原因 にできなかった 原因 にないのが 献 した にならないの内 では、 では、	た	の具体的な内容 参加・協 加期特したたとおり た以とおり た以上となった 環 をどおりのでなかった の(2) 事が前前 がは ななった 事が前が ない では では では では では では では では では で	・必要性の理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容 下であった原因> 策について なかった った原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

2	事業コード	1902		ā	課コード	0508		会計種別	介護保険特	寺別会計			予算	の種類	■政策	■経常	□なし	
Ξ				"														
1.	事業の概要(PLAN)	1.	基本事業						実施計画へ	\n_								
		①事業名		認知症地域	地域支援推進事業					t	0:	有 〇無		②部課名	健康福祉部	・高齢者支援課		
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	○その他	(~			④対象地区 ⑥担当職員数	Str.	□我孫子	□天王台	□湖北 3 人	□ □新木 □ □ (換算人数	□布佐 ■全市 0.21 人)			
(1) 4	事業概要	⑦事業費	7)事業费				229 千円			(월	(当 初) 2,		2,968 千円	(うち人件費	1,848 千円)			
		(人件費含む)	総事業費						当該(開始)	(3	変更後)		千円	(うち人件費	千円)			
		⑧施策の位置づけ	. 施策 コード		33201	重点プロジェクト への位置づけ 重点 5			基本計画地 計画への位置		0:	有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)	第7期介護保険事	工業計画	
(2)		施策目的・										症の人が住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症の正 の家族への支援などを地域で推進できる見守り支援体制づくりを行う。						
-		展開方向	ワークや新	新聞、郵便、3	宅配等の民間事業	美所との連携による見守り体制 (対 だれでも暮らしやすい地域を実	ーク)の構	į.					の依頼があった場1			造調整を行う。		
			ターを養成 ②認知症に		の充実や地域の認	恩知症支援ネットワークの構築の だ	ため、認知症に関する=	ーディネー	当該年度			んでも相談に認知 を配置する。	症に関する:	コーディネーター	を担う人材(記	忍知症地域支援推	進員研修等を受	
(3) 1	事業内容	内 容	③認知症の			立防止や精神的負担を軽減するため、介護する家族の集いにより情報]	[政策]			を定期開催していく。				
			交換や交流				=n.ss + 14.14.1-7					して「認知症カフ ター養成講座受講		2 ヶ所から6ヶ所 <i>[</i> 計)	10, 470			
(1)	+ - A - D - (- M) (- 1 - A - B)		4 認知症の	か人とその家 !		「軽に集える「認知症カフェ」の	設直を推進する。		活動結果指						単位	実績値	(0) 5 17 14	
-	達成目標(期待する成果) 当該年度	地域で認知症の人	とその家族を	を支えられる。		₹(期待する成果) ○いて理解する市民の増加を図る。	•		指標種類直接		知症サポータ	指 ター養成講座受講		i †)	単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
		地域で認知症の人	とその家族を	を支えられる。	よう、認知症につ	ついて理解する市民の増加を図る。	•		直接	認	知症サポータ	ター養成講座受講	者数(総累割	i †)		,	11, 370	
		地域で認知症の人	とその家族を	を支えられる。	よう、認知症につ	ついて理解する市民の増加を図る。	0		直接	認	知症サポータ	岁一養成講座受講	者数(総累割	†)			12, 370	
(7)]	事業実施上の課題と対応					しでも相談室に配置できるよう、 -等の研修を受講していく必要が		職員は、適	代替案検	討	0:	有 ●無						
(17	- XXXIII - XXXIII - XXXIII	H (105/4/12-0-9/2	平成30		,,,,		平成31年度		14141		令和 2年度					和 3年度		
		政策	内 容		金額(千円)	政 内容	予算額(千	円) 決算額	頁(千円) 政策		内 容		金額(千円) 政策	内容		金額(千円)	
		認知症家族の意思知症を表			21 13	東 認知症家族のつどい講師報信 認知症キャラバンメイト報信		21			のつどい講師 ラバンメイト		ı		族のつどい講 ャラバンメイ		21 13	
			・養成テキスト,オレンジリング等) 肖耗品		165 103	読知症でで プバングイ 下報 消耗品(サポーター養成テキスト) 消耗品(ステッカー等)		30 35	注		啓発用消耗品		1		。゚ーター養成テキスト		130 35	
		認知症カフェジ			408 0	認知症啓発用消耗品		03					1	03 認知症啓			103	
	実施内容	通信運搬費(オ	通信運搬費(オレンジリング送料)			* 新規認知症カフェ事業運営補 通信運搬費(オレンジリンク		7			知症カフェ事業運営補助 搬費 (オレンジリング送料)		4		! 新規認知症カフェ事業運営補助 通信運搬費 (オレンジリング送料)		402 7	
(8)	施行事項 費 用	TENT IN IN IN				ᄄᇊᄓᅔᆍᅸᄷᆉᄼᄽᄰᄼ		.09										
		臨時保健師等 (産休育休代	替分)		463	臨時看護師等賃金・交通費 (育休代替分) 「際時春講師等賃金・充済場	事の歩 るけ	.09										
		【臨時保健師等 国20%、県12.				【臨時看護師等賃金・交通費 国25%、県12.5%、保険料2 支払基金27%】												
		【サポーター3 121千円は、				【サポーター養成テキスト費 130千円は、補助対象外】					一養成テキス]は、補助対象				ター養成テキス 円は、補助対象			
	予算(決算)額		今 計		1, 180			20			合 計			711	合 計		711	
	国庫支出金県支出金	補助率		38. 5 % 9. 25 %	321 171	補助率 19.	. 25 %	62	補	助率 助率		38. 5 % 19. 25 %		273 補助率 36 補助率		38. 5 % 19. 25 %	273 136	
(9) إ	世債 対源内訳	充当率 ■特会 □受	立 口其全 口	0 %	0 297 391			96	允	当率	□受益 □基金	0%		0 充当率 39 63 ■特会	□受益 □基金	0%	139 163	
(4.0)	換算人数(人)				0. 14 1. 232			21		■19.X L				21			0. 21 1. 848	
	人件費等 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				0 463			0						0			0	
	度(予算(決算)額+正職員人件費 単位費用 (事業費/活動結果指標)	E)	0. 29千円	円/人	2, 412	0.28千円		68					2, 5	559			2, 559	
	(争未賃/ 冶助箱未拍標/																	
2.	事業の評価 (DO+CHE	CK)					· · ·											
2.						評 価						価(評価結果に	応じ、改善	案検討(拡充も含	t))		改善検討	
2.	事業の評価 (DO+CHE) 評価項目	認知症高齢者は20 症状の悪化には医	療的な要因の	のみならず環	5人以上を超え、 境要因も大きく、	約半数が在宅介護を受けていると また本人や家族の身体的・精神	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ	てい 〇	①事前確認で <i>0</i> ②事前確認で <i>0</i>	D想定どお	s i)		応じ、改善:	案検討(拡充も含	t))			
2.	事業の評価(D0+CHE	認知症高齢者は20 症状の悪化には医・る。より多くの人 場をつくるなど地	療的な要因の が正しい認知 域で見守りま	のみならず環知症の理解しる 支援する仕組	5人以上を超え、 境要因も大きく、 適切な対応を学る みづくりを推進す	約半数が在宅介護を受けていると また本人や家族の身体的・精神 ぶことや、認知症の人とその家族 けることで、認知症になっても長	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ	てい O きる	②事前確認での	D想定どお D想定どお	らり らりでなかった		応じ、改善	案検討(拡充も含む	t))		改善検討 〇要 〇不要	
2.	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由	認知症高齢者は20 症状の悪化には医・る。より多くの人 場をつくるなど地 活を送ることが可 〇①民間企業、「	療的な要因の が正しい認知 域で見守りず 能となり、が	のみならず環切 知症の理解した 支援する仕組 施設入所をした 団体等では実	万人以上を超え、 境要因も大きく、 境切な対応を学え みづくりを推進す ない期間を延ばす 実施できない	約半数が在宅介護を受けていると また本人や家族の身体的・精神 ぶことや、認知症の人とその家族	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ	てい O きる 宅生 < ^大	②事前確認での 限定どおりとし ①民間企業、N	D想定どお D想定どお た理由/ [*] NPO、市	らり らりでなかった 想定どおりで 5民団体等では	た 「なかった原因> よ実施できなかっ		案検討(拡充も含む		由>	O要	
2.	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由	認知症高齢者は20 症状の悪化には医 る。より多くの人 場をつくるなどが可 の①民間企業、「 (理由) 口法令等 口提供主	療的な更因の が正し見守り、 ドロールででなり、 ドロールででなり、 ドロールででは が市した。	のみならず環に 知症の理解しま 支援する仕組み施設入所をしま に団体等では実 することが定る	万人以上を超え、 境要因も大きく、 境切な対応を学え みづくりを推進す ない期間を延ばす 実施できない	約半数が在宅介護を受けていると また本人や家族の身体的・精神 ぶことや、認知症の人とその家族 トることで、認知症になっても長 すことで介護給付費の抑制につな	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ	てい O きる 宅生 < ^を	②事前確認での 限定どおりとし ①民間企業、N ②市が主導でが ③市が先導役と	D想定どお D想定どお た理由/ホ トPO、市 進めなけれ	らり らりでなかった 想定どおりで 可民団体等では しば実効性がな	た だなかった原因> ま実施できなかっ なかった					O要	
必	事業の評価 (DO+CHE) 評価項目 (1) 事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性)	認知症高齢者は20 症状の悪化には医 る。より多くの人 場をつくるなど地 活を送ることが可 〇①民間企業、「 (理由) □法令等 □提供主	療的な要因の が正見守り 域で見守り 下中がましかが で体が市しかな	のみならず環に 知症の理解しい 支援する仕組の 施設入所をした に団体等では実 することが定る	万人以上を超え、 境要因も大きく、 境切な対応を学え みづくりを推進す ない期間を延ばす 実施できない	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神ぶことや、認知症の人とその家族することで、認知症になっても長さことで介護給付費の抑制につなる	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ	てい 〇きる 三年生 <粒	②事前確認での 限定どおりとし ①民間企業、N ②市が先等で後 ので進された ④市の支援が函	D想定どお D想定どお た理由/ た P O O けた たれこ 文策・施	sy sy でなかった 想定どおりで i民団体等では には実効性がな とで市民へ音 cの目標の実現	た 「なかった原因> よ実施できなかっ なかった 普及が一層				由>	〇要 〇不要	
必要	事業の評価 (DO+CHE) 評価項目 (1) 事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性)	認知症高齢者は20 症状の悪化には医 る。より多くの人地 場をつくるなどが可 〇①民間企業、「等 口提供血 〇②自治体である (理由) 口提供血	療が域では、Nで体が市が施りない。 ・大きないでは、Nで体が市が市が市ができる。 ・大きないでは、まないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	のみなら理解しま 支援する仕組と を設入所をもしま はない は定しない は定しない でありますない べきでありますない べきでありますない	万人以上を超え、 境要因も大きく、 適切な対応を学さ みづくりを推進す ない期間を延ばす 実施できない められている	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神にとや、認知症の人とその家族でることで、認知症になっても長ってとで介護給付費の抑制につなまるその他の内容>	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ	でい うきる 一	②事前確認での 限定どおりとし ①民間企業、N ②市が生導で必 ③市が先導役と 促進された	D 想定 どおお D 想 定 ど おお ア B は で と な	らりでなかった。 関定どおりで 可民団体等では は実効性がた。 とで市民へ その目標の実現 にれた。	た なかった原因> よ実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した				由>	O要	
必要	事業の評価 (DO+CHE) 評価項目 (1) 事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか?	認知症高齢者は20 症状の悪化には医 る。とかくのとが可 うを送ることが可 〇①民間企業、等 (理由)□法機共 □その他 ●②自治体市が主 サーバ支	療が域能 Pで体 高導施 7 援 を す こ 2 イ は る	のみなら理解します。 対を選択します。 を選択します。 を認いはませいができない。 ではいるのである。 ではいました。 ではいまする。 ではいまる。 ではいる。 ではな。 ではな。 ではなる。 ではなる。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではなる。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。	万人以上を超え、 境要因も大きく、 境要因も大きく、 適切な対応を学ぶ みづくりを推進す をい期間を延ばす 実施できない められている 効性が得られる	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神にとや、認知症の人とその家族でることで、認知症になっても長ってとで介護給付費の抑制につなまるその他の内容>	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ	てい ○きる 字生 <粒	②事前確認での 限定どおりとし ①民間企企業で役と ②市が生導液と 促市が発導たれたが取る。 のサービスの多 のサービスの多	D 想定 定 ど ど ど と で の は の は の な の は の は の は の は の は の は に に に に に に に に に に に に に	らりでなかった。 関定どおりで I民団体等では は実効性がた。 とで市民へ その目標の実現 にれた。	た なかった原因> よ実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した				由>	〇要 〇不要	
必要	事業の評価 (DO+CHE) 評価項目 (1) 事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか?	認知症高齢者は20 症状の悪化には医 る。とかくのとが可 うを送ることが可 〇①民間企業、等 (理由)□法機共 □その他 ●②自治体市が主 サーバ支	療が域能 Pで体 あ導施が域能 Pで体 あ導施が域能 Pで体 が進提保るこの 大実し 推め供証こる はるすさに できない 単るすさに できない かい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	のみな理解には の知をいる。 の知をは をを をを をを は は は は は は は は は は は は は	5人以上を超え、 境要因も大きく、 境要因も大きく、 適切な対応を挙述する みづくりを推進する 実施できない。 をいいる。 効性が得られる。 、良質で安定した。	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神にとや、認知症の人とその家族でることで、認知症になっても長ってとで介護給付費の抑制につなる。 《その他の内容》	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ がると思われる。	てい ○きる 字生 <粒	②事前確認での 限定どおりとし ①民間企業等でといった。 ②市が先導れた。 ③③ 保師の支援が返 ④市ービススの多 ③・サービススのの他の内容 その他の内容	D 別 別 思定 ど お お 理 由 、 け た の 思 の な の を な り の な っ を の な っ ・ に れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ	らり のでなかった 可民団体等でに にば実効性がな にとで市民へ の目標の実現 は、全 が確保され	た なかった原因> よ実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた		徳の具体的な内容	・必要性の理		〇要 〇不要	
必要	事業の評価 (DO+CHE) 評価項目 (1) 事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか?	認知症高齢者は20 症状の悪化には医人 場をつくるなどが可 (理由) □ は ● ②自治体市がに 単市がにて 実現が	療が域能 Pで体 あ導施が域能 Pで体 市で・指しています。 下葉し 推進の供証こる いましい では 単るすさとに を できない かいましい は できない かいましい は できない かいます かいます かいます かいます かいます かいます は は できない かいます は は いいます は いいまます は いいまます は いいます は いいまます は いいます は いいます は い	のみな理解は、は、	5人以上を超え、 境要因も大きく、 境要因も大きく、 適切な対応を挙述する みづくりを推進する 実施できない。 をいいる。 効性が得られる。 、良質で安定した。	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神にとや、認知症の人とその家族でることで、認知症になっても長ってとで介護給付費の抑制につなまるその他の内容>	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ がると思われる。	てい O	②事前確認での 限定どおりとし ①良民間企業ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	D D D D D D D D D D D D D D	らり のでなかった 可民団体等でに にば実効性がな にとで市民へ の目標の実現 は、全 が確保され	た なかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実	徳の具体的な内容			〇要 〇不要	
必要	事業の評価 (DO+CHE) 評価項目 (1) 事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	認知症高齢者は20 症状の悪化には医人場を送ることが可している。とのでは、ののでは、 場を送ることが可して、 (理由) □ 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	療が域能 Nで体 お導施ス援図	の知定を施しています。 べことのよう はまない きにとし みいまり から でんに といる いっとこる りい ちゅうり りゅう からしょ な 策の のり は からい	5人以上を超え、 境要因も大きく、 境要因も大きく、 適切な対応を挙述する みづくりを推進する 実施できない。 をいいる。 効性が得られる。 、良質で安定した。	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神にとや、認知症の人とその家族でることで、認知症になっても長ってとで介護給付費の抑制につなる。 《その他の内容》 「大きの他の内容》 「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「「大きの人」である。 「「「「「「「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「」」である。 「「「」」である。 「「「」」である。 「「「」」である。 「「「」」である。 「「」」である。 「「「」」である。 「「」」である。 「「「」」である。 「「」」である。 「「」」できまりまする。 「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「」」できまりまする。 「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「」」できまりまする。 「」、「」」できまりまする。 「」、「」」できまりまする。 「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ がると思われる。	てい O	②事前確認での 限定どおりとし ①良民間企業ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	D D D D D D D D D D D D D D	は 関定どおりで 可には実効性がない。 ではでの対性がない。 には実効性がない。 にはでの目標の実現 が確保され 具体的な内容	た なかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実が	施の具体的な内容	・必要性の理に		○要 ○不要 ○不要	
必要性 参加・協働	事業の評価 (DO+CHE) 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: エ夫しているか?	認知症高齢者は20 症状の悪化にくのと地づいる。とからることが可しい。 「理由」になるとなが可した。 「理由」には、一体では、一体では、一体では、一体では、一体では、一体では、一体では、一体で	療が域能 Pで体 る導施ス援図 市市市が が進提保るも か 多参 民民民活 いたり 、実し 推め供証こる か の参参と の かず が で・ が が が で・ が が が が	の知意をでしています。 ペニるい という では、 はっている所では、 はっている所では、 はっている。 では、 はっている。 では、 はっている。 はっている。 はっている。 はっている。 はっている。 はっている。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 は	5人以上を超え、 境要因も大きく、 境要因も大きく、 適切な対応を挙述する みづくりを推進する 実施できない められている 効性が得られる、 、良質で安定した	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神にとや、認知症の人とその家族でることで、認知症になっても長ってとで介護給付費の抑制につなる。 《その他の内容》 「大きの他の内容》 「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「「大きの人」である。 「「「「「「「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「」」である。 「「「「」」である。 「「「」」である。 「「「」」である。 「「「」」である。 「「「」」である。 「「「」」である。 「「」」である。 「「「」」である。 「「」」である。 「「「」」である。 「「」」である。 「「」」できまりまする。 「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「」」できまりまする。 「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「「」」できまりまする。 「」」できまりまする。 「」、「」」できまりまする。 「」、「」」できまりまする。 「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ がると思われる。	てい O	②事前確認での 限定どおりとし ①良民間企業ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	D D D D D D D D D D D D D D	は 関定どおりで 可には実効性がない。 ではでの対性がない。 には実効性がない。 にはでの目標の実現 が確保され 具体的な内容	た なかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実が 〇①当 〇②当 〇③当	を加・1 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・必要性の理の	可容	〇要 〇不要 〇不要	
必要性参加・	事業の評価 (DO+CHE) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	認知症高齢者は20 症状の悪化には医人 場を送るととが 「理由」 □ 企法提供の ●②自由 □ 一本がが実現の他 「理由」 ■ 市がが実現の他 ○②常市民と共同の。 ○③市民と共同の。	療が域能 Pで体 お導施ス援図 にここのですがでと P 市が がで・がで・投口 を R 民民活業 を R に R が で・が で・が で・が で・が で・が で・が で・が で・が で・が で	の知意をでしています。 ペニるい という では、 はっている所では、 はっている所では、 はっている。 では、 はっている。 では、 はっている。 はっている。 はっている。 はっている。 はっている。 はっている。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 は	5人以上を超え、 境要因も大きく、 境要因も大きく、 適切な対応を挙述する みづくりを推進する 実施できない められている 効性が得られる、 、良質で安定した	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神にとや、認知症の人とその家族でることで、認知症になっても長ってとで介護給付費の抑制につなる。 《その他の内容》 「大きの他の内容》 「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「「いき」では、いき、「いき」では、「いき」では、いき、「いき、「いき」では、「い	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ がると思われる。	てい O	②事前確認での 限定どおりとし ①良民間企業ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	D D D D D D D D D D D D D D	は 関定どおりで 可には実効性がない。 ではでの対性がない。 には実効性がない。 にはでの目標の実現 が確保され 具体的な内容	た なかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実が 〇①当 〇②当 〇③当	を加・抗 を加・抗 を加・抗 を対期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	・必要性の理の	可容	〇要 〇不要 〇不要	
必 要 性 参加・協働のエ	事業の評価 (DO+CHE) 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: エ夫しているか?	認知症高齢者は20 症状の悪化にくのと地づいる。とからることが可しい。 「理由」になるとなが可した。 「理由」には、一体では、一体では、一体では、一体では、一体では、一体では、一体では、一体で	療が域能 Pで体 お導施ス援図 にここのですがでと P 市が がで・がで・投口 を R 民民活業 を R に R が で・が で・が で・が で・が で・が で・が で・が で・が で・が で	の知意をでしています。 ペニるい という では、 はっている所では、 はっている所では、 はっている。 では、 はっている。 では、 はっている。 はっている。 はっている。 はっている。 はっている。 はっている。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 は	5人以上を超え、 境要因も大きく、 境要因も大きく、 適切な対応を挙述する みづくりを推進する 実施できない められている 効性が得られる、 、良質で安定した	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神にとや、認知症の人とその家族でることで、認知症になっても長ってとで介護給付費の抑制につなる。 《その他の内容》 「大きの他の内容》 「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「「いき」では、いき、「いき」では、「いき」では、いき、「いき、「いき」では、「い	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ がると思われる。	てい O	②事前確認での 限定どおりとし ①良民間企業ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	D D D D D D D D D D D D D D	は 関定どおりで 可には実効性がない。 ではでの対性がない。 には実効性がない。 にはでの目標の実現 が確保され 具体的な内容	た なかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実が 〇①当 〇②当 〇③当	を加・抗 を加・抗 を加・抗 を対期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	・必要性の理の	可容	〇要 〇不要 〇不要	
必 要 性 参加・協働のエ	事業の評価 (DO+CHE) 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: エ夫しているか?	認知症高齢者は20 症状の悪化には医人 場合のよりくることが 、等さ送の「理由」 「一位のは のでは、一位のは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは の	療が域能 Nで体 あ導施ス援図 では、	の知定技施 の知定技法 の知定技法 を理付した に可ない ではい ではい ではい ではい ではい ではい ではい では	5人以上を超え、 境要因も大きく、 境要因も大きく、 適切な対応を挙述する みづくりを推進する 実施できない められている 効性が得られる、 、良質で安定した	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神にとや、認知症の人とその家族でることで、認知症になっても長ってとで介護給付費の抑制につなる。 《その他の内容》 「大きの他の内容》 「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「大きの人」である。 「「「いき」では、いき、「いき」では、「いき」では、いき、「いき、「いき」では、「い	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ がると思われる。	てい O	②事前確認での とし という	D 想定と D 想定定 E 理 D なっ・確供 N E と ない N E と ない N E と ない N E と ない N E と ない の B と な	は 関定どおりで 可には実効性がない。 ではでの対性がない。 には実効性がない。 にはでの目標の実現 が確保され 具体的な内容	た なかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた な ないないない	た <市実) 〇①当 〇②当 <期待	を加・地域を持ちます。 参加・地域 おりまま おりまま おりまま かい かい はい	・必要性の理の	可容	〇要 〇不要 〇不要	
必要性参加・協働の工夫 環	事業の評価 (DO+CHE(評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: 工夫しているか? (体制づくり)	認知なのでは、	療が域能 Pで体 る導施ス援図 では、 でいついでと P 市が が が 世界による か のの動を 配 にいる の まっか で は して いる の まっか で は して いる の まっか で は るすさと 協 画画画連施 慮 いる の たっか で は るすさと 協 画画画連施 の の まっか で は るすさと は 画画画連施 の の まっか で は の もっか で は か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	の知定技施 の知定技法 の知定技法 を理付した に可ない ではい ではい ではい ではい ではい ではい ではい では	5人以上を超え、 境要因も大きく、 境要因も大きく、 適切な対応を挙述する みづくりを推進する 実施できない められている 効性が得られる、 、良質で安定した	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神 ぶことや、認知症の人とその家族 けることで、認知症になっても長 けことで介護給付費の抑制につな: 〈その他の内容〉	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ がると思われる。	てい O	②事前確認での とし という	D 想定と D 想定定 E 理 D なっ・確供 N E と ない N E と ない N E と ない N E と ない N E と ない の B と な	はりまりでなかった。 想定どおりで 可民団体等では には実効性がへ ことでで標の まれた まなが確保され 具体的な内容	た なかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた な ないないない	た <市実	を加・1 参加・1 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 した以上となった	・必要性の理は 品働の程度・ が 理由 が 関 は の に は な の に は れ の に は は れ の に は は れ の に は は れ の に は は は れ の に は は は は は は は は は は は は は は は は は は	可容	〇要 〇不要 〇不要	
必要性参加・協働の工夫 環境への	事業の評価 (DO+CHE) 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: エ夫しているか?	認知なのでは、	療が域能 Nで体 る導施ス援図 でにこれです はのまずが 民民民活業 していいまいでと O が市 推進保証こる か の参の動を 配 ていいまいの で は で かい	の知支施 の知支施 を持ない を提及し、 をできた をできた の内 の内 の内 の内 の内 の内 の内 の内 の内 の内	5人以上を超え、 境要因も大きく、 境要因も大きく、 適切な対応を挙述する みづくりを推進する 実施できない められている 効性が得られる、 、良質で安定した	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神 ぶことや、認知症の人とその家族 けることで、認知症になっても長 けことで介護給付費の抑制につな: 〈その他の内容〉	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ がると思われる。	てい O	②事前確認での とし という	D 想定と D 想定定 E 理 D なっ・確供 N E と ない N E と ない N E と ない N E と ない N E と ない の B と な	はりまりでなかった。 想定どおりで 可民団体等では には実効性がへ ことでで標の まれた まなが確保され 具体的な内容	た なかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた な ないないない	た <市実) 〇①当当 <期待	をの具体的な内容を加・記が期待した以上と初期の期待以下した以上となった。	・必要性の理は 品働の程度・ が 理由 が 期待以 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	可容	〇要 〇不要 〇不要	
必要性参加・協働の工夫 環境へ	事業の評価 (DO+CHE(評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: 工夫しているか? (体制づくり)	認知症高齢者は200円	療が域能 Nで体 る導施ス援図 にこれで事 といい献い でと O 市が市で・がすら 参 民民民活業 してて貢取い守り 「実し 推め供証こる か 多参参と実 慮いるるし の終すが 民時に すこる は 偽画画画連施 のる てて の の まつが は の の 動を でいい 献	の知支施 の知支施 を持ない を提及し、 をできた をできた の内 の内 の内 の内 の内 の内 の内 の内 の内 の内	5人以上を超え、 境要因も大きく、 境要因も大きく、 適切な対応を挙述する みづくりを推進する 実施できない められている 効性が得られる、 、良質で安定した	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神 ぶことや、認知症の人とその家族 けることで、認知症になっても長 けことで介護給付費の抑制につな: 〈その他の内容〉	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないよう交流で く安心してよい環境でそ がると思われる。	てい O	②事前確認での とし という	D 想定と D 想定定 E 理 D なっ・確供 N E と ない N E と ない N E と ない N E と ない N E と ない の B と な	はりまりでなかった。 想定どおりで 可民団体等では には実効性がへ ことでで標の まれた まなが確保され 具体的な内容	た なかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた な ないないない	た <市実) 〇①当当 <期待	を加・1 を加・1 を加・1 を加・1 を加・1 を加・1 を加 期待した以上 を加 期待したとおり で なった に で に ど おりで なかった に 定 ど おりで なかった	・必要性の理は 品働の程度・ が 理由 が 期待以 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	可容	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要 ○	
必要性参加・協働の工夫 環境への	事業の評価 (DO+CHE(評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: 工夫しているか? (体制づくり)	認知症高齢者は200 (200 (200 (200 (200 (200 (200 (200	療が域能 Pで体 も導施ス援図 caracter と	の知定施 田すな の知定接数 体こ にと は では では でよに と の の の の の の の の の の の の の	5人以上を超え、 境要因も大きく、 境要因も大きく、 適切な対応を挙述する みづくりを推進する 実施できない められている 効性が得られる、 、良質で安定した	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神にとせ、認知症の人とその家族によっても長たことで介護給付費の抑制につなは、 《その他の内容〉 「大きの世の内容〉 「大きの世の中の中で 「大きの世の中の中で 「大きの世の	と予測されている。認知的負担も大きいと言われが孤立しないよう交流でくないでしてよい環境でそがると思われる。	てい O	②事前確認でのとし、	D D D D D D D D D D D D D D	はりまりでなかった。 想定どおりで 可民団体等では には実効性がへ ことでで標の まれた まなが確保され 具体的な内容	たまなかった原因> は実施できなかっない。 は実施できなかっない。 はい、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは	た <市実が O(2) (2) (2)	を加・1 を加・1 を加・1 を加・1 を加・1 を加・1 を加 期待した以上 を加 期待したとおり で なった に で に ど おりで なかった に 定 ど おりで なかった	・必要性の理は 品働の程度・ が 理由 が 期待以 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	可容	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要 ○	
必要性参加・協働の工夫 環境への	事業の評価 (DO+CHE(評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: 工夫しているか? (体制づくり)	認知症高齢者は200円	療が域能 Nで体 る導施ス援図 にこれで事 といい献い でと O 市が市で・がすら 参 民民民活業 してて貢取い守り 「実し 推め供証こる か 多参参と実 慮いるるし の終すが 民時に すこる は 偽画画画連施 のる てて の の まつが は の の 動を でいい 献	の知症を の知症を では では では では では では では では では では	万人以上を超え、、、 方人以上を超え、、 え、、 う境適切なく、 を対きなりを対する。 を推進する。 ないが、 ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神 ぶことや、認知症の人とその家族 けることで、認知症になっても長 けことで介護給付費の抑制につな: 〈その他の内容〉	と予測されている。認知的負担も大きいと言われが孤立しないよう交流でくないでしてよい環境でそがると思われる。	てい さき名生	②事前確認 ひしし という	Date To A To	はりまりでなかった。 想定どおりで 可民団体等では には実効性がへ ことでで標の まれた まなが確保され 具体的な内容	た なかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた な ないないない	た <市実が ○①(1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	を加・1 を加・1 を加・1 を加・1 を加・1 を加・1 を加 期待した以上 を加 期待したとおり で なった に で に ど おりで なかった に 定 ど おりで なかった	・必要性の理は 品働の程度・ が 理由 が 期待以 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	可容	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要 ○	
必要性参加・協働の工夫 環境への	事業の評価 (DO+CHE(評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: 工夫しているか? (体制づくり)	認知症高齢者は200 (200 (200 (200 (200 (200 (200 (200	療が域能 Pで体 も導施ス援図 caracter と	の知度施 の知度を では では では では では では では では では では	「人以上を超え、、、 「人以上を超え、、、 「境適切なく」 「現現切なり間をいいる 「ですい」 「ですい」 「ですい」 「ですい」 「ですい」 「ですい」 「ででで標のの 「でという。 「でという。 「でという。 「でという。」 「できている。 「でという。」 「できている。」 「できている。」 「できている。」 「できている。」 「できている。」 「できている。」 「できている。」 「できている。」 「でという。」 「でという。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「いき、この。 「い。 「いき、この。 「いき、この。 「いき、この。 「いき、 、 「いき、 「いき、 「いき、 「いき、 「いき、 「いき、 「いき、 「いき、 「いき、 「いき、 「、	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神にとせ、認知症の人とその家族にあることで、認知症になってもない。 マールの内容 でんかん でんかん でんかん でんかん でんかん でんかん でんかん でんか	と予測されている。認知的負担も大きいと言われが孤立しないよう交流でくなかると思われる。	てい さき名生	②事前確認でのとし、	Dia to New York	は ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	た さなかった原因> よ実施できなかっ ななからた 管及が一層 現に貢献した れた (又は今後、 はその内容)	た	を加・1 を加・1 を加・1 を加・1 を加・1 を加・1 を加 期待した以上 を加 期待したとおり で なった に で に ど おりで なかった に 定 ど おりで なかった	・必要性の理の程度・P	可容	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要 ○	
必要性参加・協働の工夫 環境への	事業の評価 (DO+CHE(評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: 工夫しているか? (体制づくり)	認知症高齢者は20個人 ・	療が域能 Nで体 る導施ス援図 市市市内で 上手銭載に Nで体 お導施ス援図 市市市内で 上手銭載に 日報の N で N で N で N で N で N で N で N で N で N	の知支施 日	「人以上を超え、、、 「人以上を超え、、、 「境適切なく」 「現現切なり間をいいる 「ですい」 「ですい」 「ですい」 「ですい」 「ですい」 「ですい」 「ででで標のの 「でという。 「でという。 「でという。 「でという。」 「できている。 「でという。」 「できている。」 「できている。」 「できている。」 「できている。」 「できている。」 「できている。」 「できている。」 「できている。」 「でという。」 「でという。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「でいき、この。」 「いき、この。 「い。 「いき、この。 「いき、この。 「いき、この。 「いき、 、 「いき、 「いき、 「いき、 「いき、 「いき、 「いき、 「いき、 「いき、 「いき、 「いき、 「、	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神にとや、認知症の人とその家族けることで介護給付費の抑制につな:	と予測されている。認知的負担も大きいと言われが孤立しないよう交流でくなかると思われる。	てい さき名生	②事前確認 りとし (での) という (での) にいう (Dia to Table to Tab	はりのではかった。 想定どおりではなかった。 可には実では、一様の対し、は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	た でなかった原因> は実施できなかっ きなかが を できなかっ を できなかっ を ののが のの内容) の(1)目標標値達成 の(2)目標標値達成 く目標を達成し	た <市実 が	を加・1 参加・1 初期待したとおり かかった! 定定どおりでなかった! どおりでなかった!	・必要性の理は	7容	○要 ○不要 ○不要 ○要不 ○要不 ○要不要 ○要不 ○○ ○ ○ ○	
必要性参加・協働の工夫 環境への	事業の評価 (DO+CHE(評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: 工夫しているか? (体制づくり)	認知症高齢者は20個人地のようなととが、「等主化のようなととが、「等生化のなったのなった。このでは現代のなった。このでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等生化のなった。」のでは、「等性化のなった。」のでは、「等性化のなった。」のでは、「等性化のなった。」のでは、「等性化のなった。」のでは、「等性化のなった。」のでは、「等性化のなった。」のでは、「等性化のなった。」のでは、「等性化のなった。」のでは、「等性化のなった。」のでは、「等性化、「等性化のなった。」のでは、「等性化のなった。」のでは、「等性化のなった。」のでは、「等性化のなった。」のでは、「等性化のない。」のでは、「等性化のない。」のでは、「等性化のない。」のでは、「等性化のない。」のでは、「等性化のない。」のでは、「等性化のない。」のでは、「等性化のない。」のでは、「等性化のない。」のでは、「等性化のない。」のでは、「等性化のない。」のでは、「等性化のない。」のでは、「等性化のない。」のでは、「等性化のない。」のでは、「等性化のない。」のでは、「等性化のない。」のでは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない。」のは、「等性化、可能化ない、可能化な	療が域能 Nで体 高導施ス援図 おいっと は	の知支施 日すな ペニこんこ 働 有有有携 1 つれ 1 は定 3 実り ・ 1 の りりり てい 1 で 1 は 2 で 1 に 2 り の りりり てい 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1	「人以上を起きを発きされる。」 「人以上を起きを発達する。」 「人要因対すり間をいいる。」 「会別切っていりでは、いる。」 「会別現のでは、いる。」 「会別現のでは、いる。」 「会別現のでは、いる。」 「会別現のでは、いる。」 「会別現のでは、いる。」 「会別現のでは、いる。」 「会別現のでは、いる。」 「会別現のでは、いる。」 「会別現のでは、いる。」 「会別現のでは、いる。」 「会別現のでは、いる。」 「会別現のでは、いる。」 「会別では、いる。」 「のののでは、いる。」 「ののでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いる	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神 ぶことや、認知症の人とそのできた。 認知症になってもな。	と予測されている。認知的負担も大きいと言われが孤立しないよう交流でながると思われる。 本的な内容 「1等民間資本の活用	てい。	②事前確認 ひ し し	Date Telescope	は 関定 どおりで 関定 どおりで IR (大字) で IR (大字) で	たまなかった原因> は実施できなかった かった を 及い は今後、 は今後、 は今後、 は今後、 は今後、 は今後、 はそのの内容 の(②(とは一番) の(②(とは一番) の(②(とは一番) の(②(して、 の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の)(の	た <市実	を加・1 初期待した以上も初初期待したと下した以上となった。 「定定どおりでなかった」 「定定どおりでなかった」 「変成となった原因」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・必要性の理は 場合の程度・グロック ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	下であった原因>	○要 ○不要 ○不要 ○要不 ○要不 ○要不要 ○要不 ○○ ○ ○ ○	
必要性参加・協働の工夫環境への配慮 効	事業の評価 (DO+CHE(評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働・ 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進め・ いるか? (1)目標設定は適切か?	認知症高齢者には医人地の (20年) (2	療が域能 Nで体 高導施ス援図 おいっと は 画画画連施 でる まま 事 で	の知支施 日すな ペピー A L L A M	「人以上を大きを選えて、、	料半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神によるという。認知症になったことで介護給付費の抑制につなまた。とで介護給付費の抑制につなまたとで介護給付費の抑制につなまたとで介護給付費の内容> 「大きなの他の内容> 「大きなの性の方で、 「大きなのが、 「ないずなの対象の例における。 「大きなないがする場合、比較対象例におけるる。 「大きなないがする場合、比較対象例におけるる。 「大きなないがする場合、とい数対象例におけるる。 「大きなないがする場合、とい数対象例におけるる。 「大きなないがする場合、とい数対象の例におけるる。 「大きなないがする場合、とい数対象の例におけるる。 「大きなないがする場合、とい数対象の例における方とないができないができないができないができないができないができないができないができ	と予測されている。認知的負担も大きいと言われが孤立してよいよう交流でそれがると思われる。	てい。	②事前確認 りとし (での) という (での) にいう (Date Telescope	はりのではかった。 想定どおりでは大きでは、 には実での目標の には、までの目標のは、 はなでの目標のは、 はないではないではないでは、 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	た に なかった原因 > は 実施できなかった	た <市実	を加・1 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 した以上となった。 環定どおりでなかった。 どおりでなかった。 どおりでなかった。 でなかった。 でなかった。 では、これでなかった。	・必要性の理は ・ ゆ の 程度・ ゆ の 配慮 たた 原因 とどおり で を 表 定 と ど おり で を 表 で と か と 表 で と か と 表 で と か と 表 で と か と ま で と か と か と ま で と か と か と ま で と か と か と か と か と か と か と か と か と か と	内容 下であった原因>	○要不要 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
必要性参加・協働の工夫環境への配慮	事業の評価 (DO+CHE(評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: 工夫しているか? (体制づくり)	認知症高齢者には医人地ののようなととが、「等主体のからなって、「等生体のを含また。」 (理由) □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	療が域能 Nで体 高導施ス援図 おいっと は	の知支施 日すな ペニるれこ 働 有有有携 日	万人以上を起きを発え、、、 え、、、 、	料半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神によるという。認知症になったことで介護給付費の抑制につなまた。とで介護給付費の抑制につなまたとで介護給付費の抑制につなまたとで介護給付費の内容> 「大きなの他の内容> 「大きなの性の方で、 「大きなのが、 「ないずなの対象の例における。 「大きなないがする場合、比較対象例におけるる。 「大きなないがする場合、比較対象例におけるる。 「大きなないがする場合、とい数対象例におけるる。 「大きなないがする場合、とい数対象例におけるる。 「大きなないがする場合、とい数対象の例におけるる。 「大きなないがする場合、とい数対象の例におけるる。 「大きなないがする場合、とい数対象の例における方とないができないができないができないができないができないができないができないができ	と予測されている。認知的負担も大きいと言われが孤立してよいよう交流でそれがると思われる。	O < t	②事前確認 ひ し し	Date Telescope	は 関定 どおりで 関定 どおりで IR (大字) で IR (大字) で	たまなかった原因> は実施できなかった かった を 及い は今後、 は今後、 は今後、 は今後、 は今後、 は今後、 はその の内容 ・ 「回目標標値に を 定す。根に ・ 「型状れば ・ 「型状は ・ 「	た <市実	を加・地が期待した以上も初が期待したと下した以上となった。 「定定どおりでなかった」 「定定とおりでなかった」 「を放となった原因」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・必要性の理は ・ ゆ の 程度・ ゆ の 配慮 たた 原因 とどおり で を 表 定 と ど おり で を 表 で と か と 表 で と か と 表 で と か と 表 で と か と ま で と か と か と ま で と か と か と ま で と か と か と か と か と か と か と か と か と か と	内容 下であった原因>	○要 ○不要 ○不要 ○要不 ○要不 ○要不要 ○要不 ○○ ○ ○ ○	
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	事業の評価 (DO+CHE(評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めい。 (1)目標設定は適切か?	認知なのようなとは、	療が域能 Nで体 る導施ス援図 市市市内で 上手様 成 Nで体 お導施ス援図 市市市内で	の知支施 日すな ペニるれこ 働 有有有携 日	「人以上を起きを発え、、、 え、、、 え、、、 え、、、 え、、、 、 、	料半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神によるという。認知症になったことで介護給付費の抑制につなまた。とで介護給付費の抑制につなまたとで介護給付費の抑制につなまたとで介護給付費の内容> 「大きなの他の内容> 「大きなの性の方で、 「大きなのが、 「ないずなの対象の例における。 「大きなないがする場合、比較対象例におけるる。 「大きなないがする場合、比較対象例におけるる。 「大きなないがする場合、とい数対象例におけるる。 「大きなないがする場合、とい数対象例におけるる。 「大きなないがする場合、とい数対象の例におけるる。 「大きなないがする場合、とい数対象の例におけるる。 「大きなないがする場合、とい数対象の例における方とないができないができないができないができないができないができないができないができ	と予測されている。認知的負担も大きいと言われが孤立してよいよう交流でそれがると思われる。	O < t	②事前確認 りとし した での という	Date Telescope	は 関定 どおりで 関定 どおりで IR (大字) で IR (大字) で	たまなかった原因> は実施できなかった かった を 及い は今後、 は今後、 は今後、 は今後、 は今後、 は今後、 はその の内容 ・ 「回目標標値に を 定す。根に ・ 「型状れば ・ 「型状は ・ 「	た <市実	を加・1 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 した以上となった。 環定どおりでなかった。 どおりでなかった。 どおりでなかった。 でなかった。 でなかった。 では、これでなかった。	・必要性の理は ・ ゆ の 程度・ ゆ の 配慮 たた 原因 とどおり で を 表 定 と ど おり で を 表 で と か と 表 で と か と 表 で と か と 表 で と か と ま で と か と か と ま で と か と か と ま で と か と か と か と か と か と か と か と か と か と	内容 下であった原因>	○要要 ○要要 ○○不要 ○○不要 ○○不要要 ○○不要要 ○○不要要 ○○○不要要 ○○○ ○○ <tr< th=""></tr<>	
必要性参加・協働の工夫環境への配慮 効率	事業の評価 (DO+CHE(評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めい。 (1)目標設定は適切か?	認知なのようなとは、	療が域能 Nで体 高導施ス援図	か知安徳 団すな べこもんこ 働 有有有携 つれ い ら) (人) 減減 額 (d) では、 まにと	「人以上を起きを発え、、、 え、、、 え、、、 え、、、 え、、、 、 、	料学数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神族にとせ、認知症症になの人とそのであることで介護給付費の内容> <その他の内容 > <その他の内容 > <その他の内容 > ■	と予測されている。認知 的負担もしないよう交流で ながないと思われる。 体的な内容 作民講師にも依頼してい は内容 ク ク ク 大る目標値(と現況値の差 「著負担	O < t	② 定 とし	Date Teles to the state of th	は 関定 どおりで 関定 どおりで IR (大字) で IR (大字) で	たまなかった原因> は実施できなかった かった を 及い は今後、 は今後、 は今後、 は今後、 は今後、 は今後、 はその の内容 ・ 「回目標標値に を 定す。根に ・ 「型状れば ・ 「型状は ・ 「	た < 市実	を加・1 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 した以上となった。 環定どおりでなかった。 どおりでなかった。 どおりでなかった。 でなかった。 でなかった。 では、これでなかった。	・必要性の理は ・ 必要性の理は ・ が の 配慮 た 原因 〉 ・ 養理定ど できなか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・	内容 下であった原因> 度について なかった った原因>	○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	事業の評価 (DO+CHE(評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進め、 (体制づくり) (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に、役じる事業費は適正か?	認知症のあれるとはである。	療が域能 Nで体 高導施ス援図	の知支施 団すな ペニこん 働 有有有携 つれ こう で は 下で は	万人以上を大成を建する。	約半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神によるという。認知症になってもつならでもことで介護給付費の抑制につならい。とその他の内容〉 「とで介護給付費の抑制につならいでは、というでは、上での内容〉 「とての他の内容〉 「表示をしているをしているをしているというできる場合としているの方では、上でいるでは、上でいるでは、上でいるでは、上でいるの対策を表示している。というでは、上でいるの対策を表示している。というでは、上では、上では、上では、上では、上では、上では、上では、上では、上では、上	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないと言いる。 な安心思われる。 本的な内容 本的な内容 本的な内容 本的な内容 本の活開 は関資本の活用 は関連位/事業費	O 大 C いるを生 マ E 実 く と 実 と 実	② 定 とし	Date Teles を Teles	は まりでなかった。 想定どおりで にとの目には、 にとの目に確保には、 には、との目に確保には、 には、との目になる。 には、との目になる。 には、との目になる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、は、とのになる。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	た なかった原因> ま実施できなかっ 音及ができなから 音及がた一層 見にた れた (文内内容) (文内内容) (文内内容) (文の内容) (文の内容) (文の内容) (文の内容) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	た	をの具体的な内容 参加・1 初期特ししたと下 したとと下 は記定どおりのなかった は定じおりでなかった は定じおりでなかった でなかった でなかった を放となった原因 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・必要性の理は ・ 必要性の理は ・ が の 配慮 た 原因 〉 ・ 養理定ど できなか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・	内容 下であった原因> 度について なかった った原因>	○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	事業の評価 (DO+CHE(評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働・ 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進め・ いるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に	認知なのようなとは、	療が域能 Nで体 高導施ス援図	の知支施 団すな ペニという しゅう でんしょ しゅう でんしょ でいました は 策 でんしょ でんしょ でんしょ でんしょ でんしょ でんしょ でんしょ でんしょ	万人以上を大成を建する。	料学数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神族にとせ、認知症になの人とそので、認知症になりまることで介護給付費の内容〉 < その他の内容 > < その他の内容 > < その他の内容 >	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないと言いる。 な安心思われる。 本的な内容 本的な内容 本的な内容 本的な内容 本の活開 は関資本の活用 は関連位/事業費	O 大 C T S を 全 大 E 実 よ 大	②東定 どお とし	Date Teles を Teles	は 関定 どおりで では にはとで にはまで では、 にはとで にはまで でのまた。 でのま	た に なかった原因 > は ま 変 がった 原因 > は ま 変 がった 原因 > は ま 変 がった 所因 > は ま 変 がった が かった かった が ま できなかっか が ま できなかっか が ま できなかっか が ま できなかった できない は で できない は できない は で できない は にない は できない は できない は にない は できない は にない は に	た	をの具体的な内容 参加・1 初期特ししたと下 したとと下 は記定どおりのなかった は定じおりでなかった は定じおりでなかった でなかった でなかった を放となった原因 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・必要性の理は ・ 必要性の理は ・ が の 配慮 た 原因 〉 ・ 養理定ど できなか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・	内容 下であった原因> 度について なかった った原因>	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
必要性参加・協働の工夫環境への配慮効率性 3・	事業の評価 (DO+CHE) 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: 工夫しているか? (体制づくり) (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をして投じ場事業費は適正か? (3)目標値を実現する為に投じ標対費に関係が会別に対して表別では必要性)	認知症の高齢者は20個人 (20個人 (20人 (20人 (20人 (20人 (20人 (20人 (20人 (20	療が域能 Nで体 高導施ス援図 市市市内で 上子厳載	の知支施 日すな ペニるれこ 働 有有有携 Po	「「人以上を対して、	新半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神 また本人や家族の身体的・精神 ぶことや、認知症になってもです。 さことで介護給付費の抑制につなさい。 くその他の内容> 「大の側の内容> 「大の側における場合、比較対象例における場合、比較対象例における場合、に対対のによっている。 「大の側の内容> 「大のの内容> 「大ののの内容> 「	と予測されている。認知れている。認知れている。認知れている。認知れている。言語がないと言う交流でない思われる。 本的な内容 本的な内容 「本質している。 「本質になっている。 「本質にな	O 大 C T S を 全 大 E 実 よ 大	②東定 どお とし	Date Teles を Teles	は まりでなかった。 想定どおりで にとの目には、 にとの目に確保には、 には、との目に確保には、 には、との目になる。 には、との目になる。 には、との目になる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、は、とのになる。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	た に なかった原因 > は ま 変 がった 原因 > は ま 変 がった 原因 > は ま 変 がった 所因 > は ま 変 がった が かった かった が ま できなかっか が ま できなかっか が ま できなかっか が ま できなかった できない は で できない は できない は で できない は にない は できない は できない は にない は できない は にない は に	た	をの具体的な内容 参加・1 初期特ししたと下 したとと下 は記定どおりのなかった は定じおりでなかった は定じおりでなかった でなかった でなかった を放となった原因 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・必要性の理は ・ 必要性の理は ・ が の 配慮 た 原因 〉 ・ 養理定ど できなか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・	内容 下であった原因> 度について なかった った原因>	○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
必要性参加・協働の工夫環境への配慮効率性 3.	事業の評価 (DO+CHE) 評価項目 (1) 事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働: 工夫しているか? (体制づくり) (1) 目標設定は適切か? (2) 事業費削減のエ夫をしているか? (3) 目標値を実費する為に 投ビ標対費用)	認知症の高齢者は20個人 (20個人 (20人 (20人 (20人 (20人 (20人 (20人 (20人 (20	療が域能 Nで体 高導施ス援図	の知支施 (日) は (日) で (日)	「八以上を大応を推進する。	新半数が在宅介護を受けているとまた本人や家族の身体的・精神 ぶことや、認知症の人とそのの実長 することで介護給付費の抑制につなさい。 くその他の内容> 「大の他の内容> 「大の人のでは、「ない、大の人のでは、「ない、大の人の人のでは、「ないが、からる場合、比較対象例におけるような、「大の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人	と予測されている。認知 的負担も大きいと言われ が孤立しないと言いる。 な安心思われる。 本的な内容 本的な内容 本的な内容 本的な内容 本の活開 は関資本の活用 は関連位/事業費	O 大 C T S を 全 大 E 実 よ 大	②東定 どお とし	Date Teles を Teles	は まりでなかった。 想定どおりで にとの目には、 にとの目に確保には、 には、との目に確保には、 には、との目になる。 には、との目になる。 には、との目になる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、とのになる。 は、は、とのになる。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	た なかった原因 > はまかった原因 > はま施った 原因 > はま施った 原因 > はま施った 一層 見に たいた 一層 見に たいた 「	た	を加・地 初期待したとより 初期特待したと下 記でとおりでなかった。 「定どおりでなかった」 「定じおりでなかった」 「でなかった」 「でなかった」 「でなかった」 「でなかった」	・必要性の理は ・ 必要性の理は ・ が の 配慮 た 原因 〉 ・ 養理定ど できなか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・ なか・	内容 下であった原因> 度について なかった った原因>	○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	